



2023 兵庫教育大学 大学院案内

Graduate School,
Hyogo University of Teacher Education

学校教育研究科
修士課程
専門職学位課程(教職大学院)



日本の教師教育を リードする 兵庫教育大学大学院で 豊かな学びを

兵庫教育大学は、大学院における教員の養成・研修を中核とする新しいタイプの教育大学として、1978年に創設されました。以来、日本の教師教育をリードするトップランナーとして、学校現場の課題やニーズ、教育政策の変化に応じて、絶えず大学院の専攻・コースを刷新し、カリキュラムを改善してきました。そのような本学大学院は他の教育系大学院にはない次のような特色を持っています。

- 教育専門職としての高度な専門性と実践的指導力を育成します
- 教育長、校長などの管理職から、教務主任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターなどのミドルリーダー、新任教員やスクールカウンセラーまで、学校教育の多様な専門職の養成プログラムを用意しています
- 学校現場を重視した教育・研究(教育実践学)を行っています
- 働きながら夜間や土日に学べるコースを神戸ハーバーランドキャンパスで開設しています
- オンラインと対面を併用した教育効果と利便性の高い授業を行っています
- 現職教員の学生とこれから教員や心理専門職になろうとする学生との学びの交流があります
- 本学独自の奨学金制度と入学科・授業料免除制度を用意しています
- 就職支援が充実しており、ほとんどの修了者が教員や心理専門職に就職しています
- 現職教員も多く学ぶ本学博士課程への進学の道が開かれています

また、兵庫教育大学大学院は、Society5.0における学びなど新しい教育課題に対応したカリキュラムや教育方法を開発するとともに、学生支援をさらに充実させています。令和4年3月には文部科学大臣から、Society5.0時代の教員養成に先導的に取り組む「教員養成フラッグシップ大学」に指定されました。皆様一人ひとりが、本学大学院でご自分の可能性を最大限に伸ばし、高い達成感と満足度を得られることを願っています。

国立大学法人兵庫教育大学長 加治佐 哲也

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 実践力に優れた新任教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

3専攻17コース

全国最大規模の教員養成系大学院

本学大学院学校教育研究科は、修士課程（2専攻・定員145名）と専門職学位課程（1専攻・定員155名）で構成し、それぞれの教育課程の目的に沿って学校現場を重視した教育・研究（教育実践学）を行い、以下のような人材を養成しています。

開学から40年以上が経ち、1万人を超える修了生が全国の学校現場等で活躍しています。

修士課程

人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	→ p.15
	幼年教育・発達支援コース	→ p.17
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	→ p.19
	臨床心理学コース	→ p.21
	芸術表現系教育コース	→ p.23
	生活・健康・情報系教育コース	→ p.25
特別支援教育専攻	障害科学コース	→ p.29
	発達障害支援実践コース	→ p.31

養成する人材

- “子どもとのかかわり”から教育を捉え、多様な観点から協働的に問題解決ができる教員
- 幼年教育の理論と実践に基づき、子どもと共に希望ある未来をつくる子育て支援コーディネーター
- 教育現場における子どもの発達や教員の悩みを、総合的に支援できる心理専門職
- 障害のある児童に対し、専門的・総合的な支援を行える特別支援教育スーパーバイザー

専門職学位課程（教職大学院）

教育実践高度化専攻	学校経営コース	→ p.37
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	→ p.39
	言語系教科マネジメントコース	→ p.41
	社会系教科マネジメントコース	→ p.43
	理数系教科マネジメントコース	→ p.45
	小学校教員養成特別コース	→ p.47
	グローバル化推進教育リーダーコース	→ p.49
	教育政策リーダーコース	→ p.51
	学校教育コース	→ p.53

養成する人材

- 高度な経営力を備え、新しい学校と教育行政をつくるトップリーダー
- 授業実践や生徒指導において、学校現場で指導的役割を果たし得るミドルリーダー
- より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員

CONTENTS

学長メッセージ	→ p.1
兵庫教育大学の ビジョン・ミッション	→ p.1
学校教育のニーズに 応える取り組み	→ p.3
教員・社会人の学びを 支援する取り組み	→ p.5
修了生が語る！大学院の魅力	→ p.7
取得できる資格	→ p.9
各コース紹介 修士課程 専門職学位課程 （教職大学院）	→ p.11 → p.33
教育プログラム	→ p.55
修学支援 ▶ 入学科・授業料 ▶ 奨学金制度等	→ p.57
修了後の進路・就職	→ p.59
データで見る大学院生の キャンパスライフ	→ p.61
学びをサポートする 充実の環境 ▶ 加東キャンパス ▶ 学生寄宿舎 ▶ 神戸ハーバーランドキャンパス ▶ カレッジパス	→ p.62

学校教育のニーズに応える取り組み

これからは小学校と中学校の
両方の教員免許が必須に

小中連携教育プログラムを開設

小学校から中学校への進学に際し、新しい環境での学習や生活に不適応を起こす、いわゆる「中1ギャップ」の解消等のため、小中一貫教育等が推進されています。平成28年度からの改正学校教育法の施行により、「義務教育学校(9年制)」の設置が可能となりました。令和3年度学校基本調査によると、全国に義務教育学校151校(前年度から25校増)が設置されて

おり、小中一貫型小・中学校も合わせ、その設置数は年々増加しています。これに伴い、中央教育審議会において、義務教育9年間を見通した児童生徒への指導や学校運営に対応するため、養成段階においても小学校と中学校の両方の教員免許の取得を推進するための方策が検討されており、兵庫教育大学では先駆けて対応することとしました。

教員採用試験において小・中学校を一括採用する自治体(令和3年度実施分)

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------------|
| ▶ 東京都(理科・英語対象) | ▶ 静岡県(中学校／全教科対象) | ▶ 大分県(算数・数学、理科、音楽、保体、英語) |
| ▶ 大阪府(中学校／全教科対象) | ▶ 岡山市(中学校／全教科対象) | など |

小中連携教育プログラムの概要 大学院で小(中)学校の教員免許状を追加取得可能

小中一貫・連携教育に対応できる教員を大学院で養成するため、小中連携教育プログラムの受講希望者は、大学院在学中(2年間)に小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます。さらに、修士課程の学生については、幼稚園教諭免許状を取得済みで幼稚園教諭や保育教諭として3年以上の教職経験を有している人も、小学校教諭2種免許状の所要資格を取得できます(小学校

教員養成特別コースの学生は中学校教諭2種免許状の所要資格が取得可能)。本プログラムの受講者は、学部の教職課程を履修します。大学院生が履修しやすくなるよう、多くの授業科目はオンライン(原則オンデマンド)方式での開講となります。また、教職大学院(専門職学位課程)の共通基礎科目では、小中連携教育の理解を深めるための教職科目を開設しています。

3つのユニットと対象コース等 本プログラムには次の3つのユニットがあります。

- ▶ 小学校ユニット(昼間クラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能
- ▶ 中学校ユニット(小学校教員養成特別コース)…中学校教諭2種免許状(国・社・数・理・英いずれかの教科)を取得可能
- ▶ 現職ユニット(昼間・夜間クラス)…小学校教諭2種免許状を取得可能 免許法第6条別表8適用者

対象コース等		受講可能な ユニット	大学院入学前に取得 (取得見込み含む)が必要な教員免許状
専門職学位課程	▶ 教育方法・生徒指導 マネジメントコース	教職経験のない人等 ※1	小学校ユニット
	▶ 言語系教科 マネジメントコース		
	▶ 社会系教科 マネジメントコース		
	▶ グローバル化推進 教育リーダーコース	教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット
	▶ 理数系教科 マネジメントコース ※3	教職経験のない人等 ※1	小学校ユニット
		教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット
	▶ 小学校教員養成特別コース	3年制コース ※4	中学校ユニット
		2年制コース ※4	小学校教諭1種免許状
	▶ 学校教育コース	教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット
修士課程	▶ 全専攻・コース	教職経験者(3年以上) ※2	現職ユニット

※1…教職経験3年未満の人を含みます

※2…現職ユニット受講者は、中学校教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人が対象となります

なお、修士課程については、幼小連携教育にも対応できるよう幼稚園教諭または保育教諭として3年以上の教職経験(講師としての経験を含む)がある人も受講対象とします

※3…理数系教科マネジメントコースの学生で理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません

※4…小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)の学生で、中学校教諭免許状(教科は問わない)を取得(取得見込みも含む)している人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません

修得単位数の目安(教職大学院の場合)

	小学校ユニット受講者	中学校ユニット受講者 (小学校教員養成特別コース2年制コース)	現職ユニット受講者 (実習免除が適用された場合)
教職大学院修了要件単位数	46	46	36~42
各ユニット科目単位数	41	39~45(教科により異なります)	14
計	87	85~91	50~56

申請方法(8月選抜・11月選抜のみ)

本学大学院出願時に、「小中連携教育プログラム受講申請書」を出願書類とともに提出してください。
入学後の申請はできないため、必ず出願時に併せて提出してください。詳しくは、大学院学生募集要項をご覧ください。

Q&A

- Q.1** 中学校教員を目指していますが、小学校免許も本当に必要でしょうか。

A.1 義務教育学校、小中一貫型小・中学校の設置が急速に進められていることや少子化により、義務教育の9年間を見通した児童生徒の指導ができる教員が求められています。そのため、今後は両方の免許を取得することが望ましいと考えられています。
- Q.2** 小・中両方の免許を持っていると採用試験で有利になるのでしょうか。

A.2 免許の組み合わせはさまざまですが、複数の学校種・教科の教員免許状を取得している人に対して、採用試験で加点措置等を取っている自治体は全国で44ありました(令和2年度実施分:文部科学省調べ)。受験する自治体によっては有利になる場合があります。
- Q.3** 2種免許状では採用前・採用後で不利になるようなことはありませんか。

A.3 採用試験受験時および採用後の給与・処遇等においても不利になることは一切ありません。
- Q.4** 教職大学院と小中連携教育プログラムの単位を2年間で修得するのは大変ですか。

A.4 修得する単位は多くなりますが、2年間で計画的に履修することで十分修得可能です。
- Q.5** 音楽、体育や図画工作など実技が苦手ですが大丈夫でしょうか。

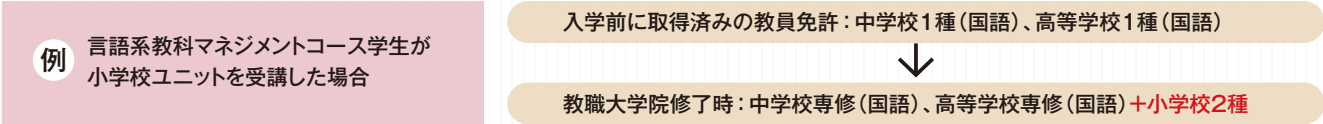
A.5 トレーニング室やピアノレッスン室など正課や課外で実技練習が可能な施設が充実しているので、実技が得意でない人も練習次第で克服可能です。また、小学校等の教員採用試験の実技試験対策の講座も開催しています。
- Q.6** 現職ユニット(小学校2種免許)の単位修得方法を教えてください。

A.6 中学校教諭(修士課程は幼稚園教諭または保育教諭含む)として3年以上の教職経験がある人について、小学校の各教科の指導法等14単位を修得することで小学校2種免許の所要資格が取得できます。幼稚園教諭の場合は、さらに道徳の理論および指導法(2単位)の修得が必要です。
- Q.7** 修士課程の学生で幼稚園教諭免許状を有し、幼稚園や幼保連携型認定こども園で3年以上の教職経験があれば現職ユニットを受講可能となっていますが、幼稚園教諭や保育教諭が小学校教諭免許状を取得するメリットは何か。

A.7 今日の幼児教育においては、「3つの資質能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が提示されるなど、小学校教育との学びの連続性が重視されるようになっていきます。本プログラムで小学校教諭免許状を取得することで、連携体制の構築や接続期を含めた教育課程の編成などに、これまで以上に実質的な裏付けを持って取り組むことができます。

【参考】専修免許状の取得について

各自がすでに所持している1種教員免許状を、専修免許状に上申することができます。



大学院修了者の初任給

大学院修了者は、大学卒業者より2万5,000円程度初任給が高くなります。生涯賃金を考えると、大学院を修了するメリットは給与面でもあるといえます。

【参考】令和3年度兵庫県教員の初任給

神戸市内の県立高等学校勤務者の場合

(大学院修了者)26万7,529円 (大学卒業者)24万2,439円

※金額は募集案内から

教員・社会人の学びを支援する取り組み

オンラインを活用し、全国どこからでも勤務しながら学べる

学校経営コースにフレックスクラスを開設

学校経営コースでは、今後の学校づくりに必要とされる課題解決力や組織経営力を高めるカリキュラムを用意し、対面とオンラインの併用（ハイブリッド方式）による講義等を実施します。本コースでは、令和4年度から新たに、対面授業が中心となっていた従来の夜間クラスから、オンラインを活用した柔軟な学びのスタイルに対応する仕組みを導入し、全国どこに

でも勤務しながら学ぶことができるフレックスクラスを開設しました。授業の一部は、土日での実施や、神戸ハーバーランドキャンパス等において昼間クラスと合同で実施しますが、その際は対面またはオンラインの選択が可能です。詳細はp37を参照。

学校経営コース（フレックスクラス）以外にも、働きながら神戸ハーバーランドキャンパスで理論と実践を学べる「夜間クラス」（修士課程・専門職学位課程）や、学生の要望等を踏まえた時期・場所（一部の授業は神戸ハーバー

ランドキャンパスで実施）で授業を受けることができる「教育政策リーダーコース」を開設しています

共通科目や共通基礎科目、各コースの専門科目等とは別に、夜間クラスの学生も受講可能な教育プログラムを開設しています。

特別支援教育プログラム

特別支援学校教諭（知的・肢体不自由・病弱）1種または2種免許状取得可能 ※1

小中連携教育プログラム（現職ユニット）

小学校教諭2種免許状取得可能 ※2

※1…免許申請に当たっては3年以上の教職経験が必要ですが、受講に当たっての制限はありません

※2…中学校教諭（修士課程は幼稚園教諭または保育教諭含む）として教職経験3年以上の人が対象、大学院選抜試験出願時に申請書の提出が必要です

教育研究機能を大幅に拡充し、さらなる発展を目指して

神戸ハーバーランドキャンパスをJR新長田駅前に移転

兵庫教育大学は令和5（2023）年10月、神戸ハーバーランドキャンパスを神戸市長田区（JR新長田駅前）に移転します。神戸ハーバーランドキャンパスは、働きながら学べる夜間の大学院として、これまで1,000人を優に超える教員・社会人が学んできました。また、2年度からは臨床心理学コースの昼間クラスも開講しています。このたび、教育研究機能を大幅に拡充し、Society5.0時代に対応した教員・社会人のリカレント教育の拠点

として、また心理専門職養成の拠点として、さらなる発展を目指して移転することを決定しました。生まれ変わった神戸キャンパスでは、教師教育のトップランナーとして兵庫県・神戸市を中心に全国に発信できる教育研究を進めるとともに、長田地区の活性化に少しでも貢献できるよう、地元の方々と兵庫県・神戸市との連携を強化していきます。

新キャンパス（神戸キャンパス）概要

▶ 移転先住所等

神戸市長田区腕塚町5丁目（JR新長田駅・地下鉄新長田駅から徒歩約7分）

※兵庫県立総合衛生学院建替整備事業に伴い、新築ビルの6階～8階に入居予定

▶ 神戸ハーバーランドキャンパスの2倍以上の占有面積

約3,600㎡（現在の神戸ハーバーランドキャンパス約1,700㎡）

▶ 臨床心理相談室を大幅に拡充

子どもの不登校や発達障害、大人のストレスなどに関する相談などを実施。面接室4室、プレイルーム4室、観察室・検査室・カンファレンスルーム各1室を整備

▶ Society5.0時代の教育への対応

STEAM教育の推進や教育とテクノロジーを融合した「EdTech」の活用を推進するための教育研究施設を整備予定

▶ 社会人が学びやすい環境やシステムの整備

対面授業・オンライン授業（同期・非同期）を学生が選択できる「Hyflex授業」を推進。神戸キャンパスの授業をオンラインで配信できるよう教室のスタジオ化を計画

新キャンパスが入居予定のビルについて、コロナ禍の影響等により世界的な建設資材・部品の供給不足などが発生しており、工期が延長される可能性があります。それに伴い、新キャンパスの開設時期が令和6年4月以降にずれ込んだ場合は、現在と変わらず神戸ハーバーランドキャンパスで授業等を行います。新キャンパスの最新情報については、随時本学ウェブサイトでお知らせします。



完成イメージパース



教員免許状を大学院で一から取得したい人へ

教員免許状を持っていなくても、これから教員を目指せます!!

大学(学部)で教職課程を受講しておらず、これから教員免許を取得して教員を目指す人に対して、長期在学や長期履修学

生制度により、教職大学院で3年間かけて教員免許の取得が可能なコース(プログラム)を設置しています。

小学校教員を目指す人

小学校教員養成特別コース(3年制コース) ※長期在学コース

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(小学校1種対応)を履修し、修了時には小学校教諭専修免許状の所要資格が得られます。詳細はp.47を参照。また、小中連携教育プログラム

を履修することで、併せて中学校2種免許(国・社・数・理・英のいずれかの教科)の所要資格を得ることも可能です。

ここに注目!!

3年制コースではありますが、2年次までに小学校1種免許相当の単位修得が可能のため、2年次から各自治体等が実施する教員採用試験を受験することができます(大学院在学中に2回教員採用試験を受験する機会があります)。

2年次に教員採用試験に合格し、多くの自治体等で実施されている大学院在学者・進学者に対する特例制度(採用の延期など)を受けた3年制コースの学生は、3年次の授業料を全額免除します。

大学院在学者・進学者に対する特例制度とは…

教員採用試験合格者のうち、大学院に在学・進学する人に対して、採用候補者名簿登載期間の延長・採用の延期をするなどの特例的措置を各自治体が

実施するものです。大学院在学者は1年程度採用の延期等ができます。教員採用試験を実施している都道府県・市等が67ありますが、そのうち61の都道府県・市で大学院在学者・進学者に対してこの制度を適用しています。

中学・高等学校の数学または理科の教員を目指す人

理数系教科マネジメントコース(理数系教員養成特別プログラム) ※長期履修学生制度を活用した3年履修

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(中学・高等学校1種対応)を履修します。修了時には、中学・高等学校教諭専修免許状(数学または理科)の所要資格が得られます。詳細はp.55を

参照。なお、理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません。

Q&A

Q.1 長期在学制度とはどういうものですか。

A.1 長期在学制度が適用される小学校教員養成特別コース(3年制コース)は3年間の教育課程が編成されており、コース入学者全員が3年間在学します。そのため、3年分の授業料が必要になります。ただし、小学校教員養成特別コースの学生は、2年次で小学校1種免許相当の単位が修得可能なため、2年次に教員採用試験を受験することが可能です。2年次に教員採用試験に合格し、各自治体の採用猶予を受けた人は3年次の授業料を全額免除します。

Q.2 長期履修学生制度とはどういうものですか。

A.2 理数系教科マネジメントコースの入学者で、理数系教員養成特別プログラムの受講を希望する人について適用さ

れます。2年の標準修業年限を1年延長し、理数系教員養成特別プログラムを受講します。2年分の授業料で3年間修学することができます。

Q.3 小学校教員養成特別コースへの入学を希望していますが、出身大学(学部)では卒業論文が課されていなかったため、教職大学院の「教育実践研究報告書」が作成できるか不安です。

A.3 小学校教員養成特別コースは、レポート作成法、教育実践研究法、アクション・リサーチなど「教育実践研究報告書」の作成に必要な基礎的な知識や技能を修得する科目が開設されています。また、指導教員から個別の指導も受けられるので、卒業論文作成の経験がない人も安心してください。

教職の勉強とピアノ演奏を 両立できる素晴らしい環境で 実践力が身に付きました

他大学 → 兵教大大学院 → 公立中学校教員

芸術系教育コース(音楽) 令和2年3月修了 神野有香さん

兵教大に入学した理由

大学でピアノを専攻し、ピアニストを目指して留学の準備を進めていたものの、将来への不安から進路に迷いもありました。そんな時に地元の中学校で教育実習をしたのをきっかけに、教員になりたいという気持ちが芽生えました。ただ、教えるための知識も力も足りないため、基礎を身に付けたいと大学院進学を考えました。たまたま母の知人だった大学関係者から、兵教大は教育を学べるのはもちろん、演奏活動も盛んだと聞き、さらに調べると現役で演奏活動をしているような先生もいることを知り、すぐに受験を決めました。

ココが良かった！

音楽教育について深く学べただけでなく、特別支援学校教諭の免許状取得に必要な授業も取っていたので知らなかった分野も勉強できました。ピアノ演

奏についても、本格的なレッスンを受けられた上に24時間いつでも練習室のピアノを使える環境で、学びと演奏の両方が充実していた点は本当に良かったです。また、教員採用試験対策へのバックアップ体制も素晴らしかったです。教職キャリア開発センターに毎日のように通い、1対1で模擬授業や場面指導をするたびに的確なアドバイスをいただいたおかげで無事に合格できました。

実感！自分の成長

大学院に入ってから、ピアノ演奏や音楽をより好き

になりました。歌が得意ではなく高音が出なくて悩んでいたのですが、歌唱授業での指導がすごく分かりやすく、先生の一言によって自分でも不思議なほど高音で歌えるようになりました。「私も生徒にこういう体験をさせてあげたい」と思いましたし、曲の背景など、教材に関して教わった知識は今、そのまま授業で使わせてもらっています。説明していて「そうなんや!」と生徒の目がきらっと光ったときなどは、教える喜びを感じます。

進学を考えている人へのメッセージ

芸術系コースでは教職の勉強と実技面のどちらも充実していて、実践力が身に付きます。同級生には現職の先生たちもいて、経験に基づくテクニックや考え方を日常的に聞くことができるのも、兵教大ならではの魅力です。今どきの生徒たちの様子や部活動の実情などあらゆることを尋ね、働く前からイメージを膨らませることができました。

Profile

3歳でピアノを始め、大阪音楽大学時代にはドイツへの短期留学も経験。平成30年3月に卒業後、同年4月に兵庫教育大学大学院に入学し、木下千代教授のゼミに所属。令和2年3月の修了後は加古川市内の中学校に音楽科教員として着任。2学年11クラスの授業を受け持った。



充実した教育内容のおかげで 学んだことがまさに今 生きています

他大学

兵庫県立高校教員・教育委員会

兵教大大学院

兵庫県立高校教頭

学校経営コース 令和2年3月修了 木澤直子さん

兵教大に入学した理由

平成26年に兵庫県から米国ワシントン州の公立高校へ交換教員として1年間派遣された時の経験が根底にあります。その学校では教員の約7割が大学院を修了しており、30代から管理職にチャレンジするような環境で、非常に刺激を受けました。いざ自分が管理職になるに当たり、学校経営については素人なので専門的に学べばと派遣制度に申し込みました。兵教大を選んだのは、学校経営において日本をリードするような教員陣がそろっていること、教育行政と学校教育現場の組織改革という両面から学べることに魅力を感じたからです。

ココが良かった！

教員陣が地域や学校などでいろいろな役をされてい

るので、教育委員会の研修や学校の評議員会など、さまざまな所にフィールドワークとして同行させてもらえた点です。なかなか行けないような場ばかりで、貴重な経験でした。また、同級生には県外の教員や、教育委員会で長年働いてきた人もいたので、他県の教育や異なる立場の人の考え方を知ることができ、勉強になりました。学内のベストクラスを選ぶFD活動に参加し、選出された授業の担当教員や受講生にインタビューなどをしたのも興味深かったです。

実感！自分の成長

修了直後、初めて教頭に就いた途端にコロナ禍に見

舞われました。毎日が問題の発生・解決の連続という慌ただしい日々の中、課題解決に至るためのヒントなど学んだことが生きています。先生方の熱意と協力のおかげで危ぶまれていた学校行事も全て実施。特に、体育祭はヴィッセル神戸の厚意によりノエビアスタジアム神戸で開催でき、生徒たちに最高の思い出をつくってあげることができました。今後も気持ちを大切に、粘り強く取り組んでいきたいです。

進学を考えている人へのメッセージ

大学院での2年間は、ギフトのようなものです。教員陣には丁寧に見ていただき、他の大学院では受けられないような充実した教育内容に満足しています。自然豊かな環境の中、研究したいことにじっくり専念できるので、職場に復帰してからそのお返しをしていただければと思います。

Profile

神戸大学教育学部を卒業後、英語教員として兵庫県立小野高校に着任。県立加古川東高校在職中に神戸市外国語大学大学院へ進学し教科教育の専門性を磨く。平成30年、県教育委員会の現職派遣制度を利用して兵庫教育大学大学院に入学し、當山清実教授のゼミに所属。令和2年3月の修了後、県立兵庫工業高校に教頭として赴任。

現職教員が兵庫教育大学大学院で学ぶ方法

公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、教育委員会や教育センター等で教育行政に携わる指導主事などが、教員の身分を有したまま学び、学位を取得することができます。詳しくは、所属する都道府県または市町村の教育委員会へご相談ください。

① 都道府県等教育委員会からの派遣により学ぶ
全国の都道府県等教育委員会から派遣された現職教員が学んでいます（令和3年10月1日現在136人）。

② 大学院修学休業制度を利用して学ぶ
在職期間が3年以上ある教員が対象で、最長3年間休職できます（令和3年10月1日現在14人）。

③ 自己啓発等休業制度で学ぶ
地方公務員または国家公務員として2年以上の在職期間がある者が対象で、原則2年間休職できます。

④ 働きながら夜間クラスで学ぶ
人間発達教育専攻および教育実践高度化専攻で開講しています。

取得できる資格

教員免許状 専修免許状を取得できます。(注2)

課程	専攻	コース	取得できる教員免許状の種類
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	幼小中※1 高※2
		臨床心理学コース	
		幼年教育・発達支援コース	幼小
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース	幼小中※1 高※2 養 栄
		芸術表現系教育コース	小中(音楽) 高(音楽)
			小中(美術) 高(美術、工芸)
		生活・健康・情報系教育コース	小中(保健体育) 高(保健体育) 栄※3
			中(技術) 高(工業)
			小中(家庭) 高(家庭) 栄※3
			幼小中※1 高※2
	特別支援教育専攻	障害科学コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 特別支援学校教諭1種・2種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) (注3)
		発達障害支援実践コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 障害科学コースの授業科目を受講することで、特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得できます(知的障害者、肢体不自由者、病弱者) (注3)
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース	幼小中※1 高※2
		教育方法・生徒指導マネジメントコース	
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)	
		グローバル化推進教育リーダーコース	
		教育政策リーダーコース	
		学校教育コース	小中※1 高※2
		言語系教科マネジメントコース(国語)(英語)	
		社会系教科マネジメントコース	
		理数系教科マネジメントコース(数学)(理科)	

幼…幼稚園教諭専修免許状 小…小学校教諭専修免許状 中…中学校教諭専修免許状 高…高等学校教諭専修免許状 養…養護教諭専修免許状 栄…栄養教諭専修免許状 令和5年4月から、新たに栄養教諭専修免許状も取得できるよう、現在文部科学省に教職課程を申請中です。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

※1…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教の免許教科を示します
※2…国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉の免許教科を示します
※3…免許状の取得には、修了に必要な単位に加え、一部他コースの授業科目の単位を修得する必要があります

注) 1. 授業科目は、特別支援学校教諭1種・2種免許状の対応科目を除き、全て専修免許状の取得に対応しています。1種・2種免許状の取得には使用できません。
2. 専修免許状を取得するためには、取得を希望する専修免許状に対応した1種免許状を所有していなければなりません(小学校教員養成特別コース(3年制コース)については、入学時に小学校教諭の免許状を所有していなくても、小学校教諭専修免許状を取得することが可能です)。
3. 特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得するためには、幼・小・中・高いずれかの普通免許状を本学大学院に入学するまでに所有していなければなりません。なお、教育実習(特別支援学校)は、特別支援教育専攻に所属する学生のみ履修が可能です。そのため、特別支援教育専攻以外の学生で取得を希望する方は、次のようになります。
①3年以上教員として勤務経験がある方については、教育実習を除く所定の単位を修得することで取得が可能です。
②3年以上教員として勤務経験のない方については、修了時には取得できませんが、教育実習を除く所定の単位を修得し、修了後に勤務経験年数を満たせば取得可能です。
4. 他の専攻・コースの授業科目の単位を修得することで、所属コースでは対応していない免許状を取得することが可能ですが、所定科目の履修機会を保障するものではありません。

その他の資格

その他の資格 心理系の資格等の受験資格も取得できます。

取得できる受験資格	対象コース等	概要
公認心理師	臨床心理学コース (昼間クラス)	平成29年9月15日に施行された公認心理師法に基づく国家資格です。保健医療・福祉・教育その他の分野において、心理に関する支援を要する人やその関係者に対し、心理状態の観察・分析、相談・支援・援助などを心理学に関する専門的知識と技術をもって行います。また、心の健康に関する知識の普及を図るための教育や情報提供も行います。公認心理師試験の受験資格を得るためには、学部で所定の科目を修めている必要があります(大学学部における要件充足の有無については、ご自身で在学または出身大学にご確認ください)。 厚生労働省 公認心理師 検索
臨床心理士	臨床心理学コース (夜間クラス)	(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格で、有資格者は「心のケアの専門家」として、教育、医療、福祉、司法、産業などの活動領域で活躍しています。臨床心理学コースは、臨床心理士の受験資格が得られるコースとして同協会から1種指定大学院として指定を受けています。 ※昼間クラスの学生は、夜間クラスの授業を履修することで公認心理師と併せて臨床心理士の受験資格取得が可能です 日本臨床心理士資格認定協会 検索
学校心理士	教育コミュニケーションコース 幼年教育・発達支援コース 学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻 (原則、障害科学コースのみ)	本学での条件を満たした人は、学校心理士資格を類型Iで申請できます。なお、資格認定には指定された科目の履修に加え、筆記試験とケースレポートの審査に合格する必要があります。 学校心理士認定運営機構 検索
カウンセリング心理士	学校心理・学校健康教育・発達支援コース 教育方法・生徒指導 マネジメントコース	日本カウンセリング学会がカウンセリングについての一定の学識と技能を有する会員に付与するものです。 日本カウンセリング学会 検索
臨床発達心理士	幼年教育・発達支援コース 学校心理・学校健康教育・発達支援コース 特別支援教育専攻	(一社)臨床発達心理士認定運営機構が認定する資格です。発達の観点から障害、社会適応などの問題を査定し、子どもから大人まで生涯にわたり人間の多様な育ちを支援します。 臨床発達心理士認定運営機構 検索
特別支援教育士	発達障害支援実践コース	LD・ADHD等のある子どもへのアセスメントや指導における専門資格です。発達障害支援実践コースは、コース認定を受けており、受験に必要なポイントの振り替えを受けることができます(36ポイント中、30ポイントまで)。 特別支援教育士資格認定協会 検索

※単位、科目など所定の要件を満たすことが必要ですが、複数の資格取得を目指す場合など、所定科目の履修機会を得られない場合があります

※詳細は各協会等のウェブページまたは本学ウェブサイトの各対象コースの「取得できる教員免許状と資格」ページでご確認ください

教育にとって
本質的なものを探究する

修士課程

授与される学位…修士(学校教育学)

多様化する学校教育の
諸課題と向き合い究明する

人間発達教育専攻

こんな人を募集します!

教育コミュニケーションコース 昼 夜	教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学、歴史学、社会学、心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究します。	広く教育を問いたい人
幼年教育・発達支援コース 昼 夜	幼年期の教育、心理、保育内容、福祉、子育て支援について教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。	幼児教育・保育関係者 子育て支援関係者
学校心理・学校健康教育・ 発達支援コース 昼 夜	子どもの成長や発達ならびに健康を総合的に支援・教育できる教員や専門家を育成します。	学校・教育関係者 保健・福祉領域関係者
臨床心理学コース 昼 夜	生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。	臨床心理士を目指す人 公認心理師を目指す人
芸術表現系教育コース 昼 夜	音楽と美術の芸術教育に関わる諸事象について、理論と実践の両側面から探究し、論理的・創造的な実践力を備えた人材を育成します。	芸術系教員 芸術関係者 教員志望者
生活・健康・情報系教育コース 昼 夜	生活、健康、情報ならびに関連する教科に関わる高度な知識と技能を学び、応用的な実践や社会実装ができる人材を育成します。	生活・健康・情報関係者 家庭・技術・情報・保健体育教員 教員志望者

● … 加東キャンパス ● … 神戸ハーバーランドキャンパス

障害のある幼児・児童・生徒等への
専門的・総合的な支援力・実践力を高める

特別支援教育専攻

障害科学コース 昼	多様な教育的ニーズのある児童生徒に対応できる総合的な専門性に裏付けられた支援力(実践、連携、研究)を育成します。	特別支援学校教員 特別支援学級担任 教員志望者
発達障害支援実践コース 昼	学校(通常学級、通級指導教室、校内における特別支援教育体制)や地域における発達障害支援のための実践力を育成します。	発達障害支援の人材 特別支援学校教員 特別支援学級担任 教員志望者

● … 加東キャンパス

修了に必要な単位

		合計単位数	最低修得単位数
共通科目	2単位以上	26単位	32単位 ※
専門科目	16単位以上		
探究力を養成する課題研究	各自の研究課題に応じ、担当教員の指導の下に8単位		

※合計単位数26単位と最低修得単位数32単位との差6単位は、共通科目、専門科目(修士課程においては、自身が所属するコース以外で開設する科目を含む)および交流科目のうちから修得するものとします。なお、外国人留学生については、外国人留学生専門科目からも修得できるものとします

学びのプロセス

課題研究(修士論文作成)の流れ

1年次	5月まで	指導教員(ゼミ)を決定
	5月以降	研究テーマを設定し、順次、先行研究・文献の調査、実践研究、学会等での研究
2年次	6月	中間発表(研究の動機と目的、研究方法、章立て、参考文献)
	11月	論文題目の最終決定
	12月中旬	提出締切▶修正の上、1月中旬に審査委員に提出
	2月初旬	修士論文口述試験▶修正の上、最終原稿を提出



幼年教育・発達支援コース
令和4年3月修了
／認定こども園保育教諭

佐竹智恵子さん

オンラインを活用した、子どもの学びを 育ちにつなぐ保育実践方法の検討

勤務園が認定こども園へ移行したことで、未満児保育の内容の充実が新たに求められるようになり、この点に関する研究がしたいと思い、大学院進学

を目指しました。入学直後に指導教員が決定し、ゼミが始まりました。自身の課題や興味のあることに関する文献を要約、考察することから始め、1年の夏頃には実践の中で課題に感じていた、2歳児クラスから3歳児クラスへの接続期に焦点を当て、子どもの学びを育ちにつなげるための方法論を研究課題にしました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大したため、対面での調査が困難になり、コロナ禍でもできる研究方法を見いだす必要が出てきました。また、授業もゼミもすべてオンラインで行われ、これまでにない調査の方法も研究課題の一つとなりました。さらに、研究に関連する活動として、3年間の在籍期間中に、オンラインではありましたが、学会発表を2度経験させていただき、自らの課題をさらに追究することができたと思います。

佐竹さんの3年間の学び

月		佐竹さんの3年間の学び											
年次		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	指導教員 決定	研究課題の選定					調査I：研究結果の分析・考察						
		情報収集（フィールドワーク、文献、学会参加）											
2年次	調査II：研究結果の分析・考察					中間発表	調査II：研究結果の分析・考察						
	学会資料の作成	学会発表	情報収集（フィールドワーク、文献、学会参加）										
3年次	論文作成	調査III：研究結果の分析・考察							題目決定			論文提出	論文審査
	学会資料の作成	学会発表	情報収集（フィールドワーク、文献、学会参加）										



発達障害支援実践コース
令和4年3月修了
／小学校教諭

金尾 智さん

自閉スペクトラム症生徒の 個別指導の研究から現場で生かせること

私は、特別な支援ニーズを持った子どもたちの困り感を少しでも減らせる研究がしたいと考えていました。指導教員の岡村先生は自閉スペクトラム症児の支援を研究されており、個別指導の専門性が高められると考えました。そこで、私は自閉スペクトラム症生徒の個別指導における有効な支援の在り

方を研究のテーマとして設定しました。

岡村ゼミでは、ゼミ生みんなで議論し研究の質を高めていきます。ゼミ生同士で研究を高めていけるように他のゼミ生の研究も自分の研究のように日夜議論を重ねていながら研究を進めました。一緒に考えることを通して研究の進め方や悩みを共有し、ゼミ生同士が共に支え合う仲間になることができたと思います。

研究を進めていく上で大切にすることは、先行研究の知見から課題や指導方略を見だし、客観的なデータに基づいて評価することです。行動に着目し、生起回数やできた日などを数値化することで、誰が見ても分かるデータにし、個別指導の有効性を評価していききました。こうした研究活動を通して、現場に帰った時にも行き当たりばったりの実践から脱却し、根拠に基づいた指導が実践できるのではないかと考えています。そして、修了後の現場でも研究の成果を生かして研鑽を深めていきたいと思っています。

金尾さんの2年間の学び

月		金尾さんの2年間の学び											
年次		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次		コロナ禍で 休校	研究 テーマ 検討	指導教員 の決定	研究課題の選定				テーマ発表会	情報収集(学会参加)			
					情報収集(文献)			基礎実習(アセスメント演習・ケース実習)					
2年次						課題実習報告会		課題実習リフレクション					
		課題実習(アセスメント、手続きの検討、個別指導)									論文提出	論文審査	修士論文 最終発表会

学生の時間割を公開！



教育コミュニケーションコース
2年

中原竜彦さん

よりよい学びのために

私は、興味がある分野の研究がしくて進学しました。そのため、授業を選択する際には、自身の研究時間を確保できるよう余裕を持った時間割構成にしています。私のスケジュールとして特異なものに、授業運営のサポートをするクラス・アシスタント(CA)業務があります。講義のお手伝いをしながら、同時にその内容の勉強もできるので、学びと研究費用の確保の両立につながっています。履修して良かった科目は、「教育コミュニケーション論」です。コースの全教員がそれぞれの専門から「教育コミュニケーション」について講義してくださり、また、他コースの学生も受講しているので、さまざまな視点から考えることを学びの中で体験できています。一つ一つの講義やゼミ等が自分の力になっていくことを実感する日々です。

1年次の授業スケジュール(令和3年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教育の歴史と教育理論の展開		子どもの発達と学校の関わり	
	2	教育コミュニケーション論	ゼミ	教育文化の歴史	
	3	教職原論(CA)		かかわりの発達心理学	
	4				
	5				
後期	1	学校における防災教育と心のケア			
	2	教育コミュニケーション実践論		教えと学びの哲学	教育基礎論(CA)
	3		ゼミ	ライフスタイルと健康	
	4	教育方法論(CA)			
	5				



生活・健康・情報系教育コース
令和4年3月修了

小西康基さん

部活と研究の両立

私はヒトの身体的なメカニズムについて研究したいと思い、大学院に進学しました。大学院では陸上競技部に所属しており、研究や授業と両立して活動しています。私の研究室では運動生理学やバイオメカニクス、トレーニング科学をテーマとした研究を行っているので、主に保健体育の授業を中心に履修を組みました。また、1年次は時間に余裕があったので、前期と後期に分けて修了条件を満たすように履修しました。そして、2年次では研究室での実験や論文の作成などに時間を使うようにしています。私が履修して良かったと思う科目は「身体運動科学」です。さまざまな視点から科学的に学ぶことができ、研究テーマを決めるきっかけにもなりました。

1年次の授業スケジュール(令和2年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教育の歴史と教育理論の展開		子どもの発達と学校の関わり	
	2	スポーツ心理	身体運動科学		
	3	教育情報コミュニケーション		衛生学・公衆衛生学研究	
	4				課題研究
	5				
後期	1				
	2		運動指導の基礎と応用		
	3	保健体育科教育論			スポーツ文化論
	4	地域スポーツ	情報社会と生活	教育情報工学	課題研究
	5				



障害科学コース
令和4年3月修了
山本啓仁さん

「知る」「学ぶ」「考える」

私は興味・関心のある特別支援教育を広く学ぼうと思い入学しました。障害科学コースでは教育にかかわらず医療や保健、福祉等さまざまな分野から多角的・多面的に特別支援教育について知り、学び、考えることができました。履修は隔年開講の授業を中心に、特別支援学校教諭免許（5領域）の1種・専修の取得に加え、基礎免許の専修を取得できる他コースの授業も履修しました。ストレート院生であり、教員免許の取得のため取得単位数は多くなりましたが、その分さまざまな授業で先生方はもちろん現職教員や他分野での社会人経験のある学生からも学ぶことが多く、教員を目指す上で知り、学び、考えることが充実した2年間になりました。

1年次の授業スケジュール（令和2年度）

時限	月	火	水	木	金
前期	1	授業の指導計画と教材研究の演習		子どもの発達と学校の関わり	聴覚障害児心理学研究
	2	特別支援教育方法演習	視覚障害児教育論		聴覚障害児教育基礎技能
	3	特別支援心理学研究方法演習		コーディネート概論	
	4		発達障害研究	視覚生理・病理	ゼミ
	5		肢体不自由児指導論	障害者福祉論	
後期	1	学校における防災教育と心のケア	病弱児指導論	発達神経医学	視覚障害児心理学特論
	2	コーディネート研究	視覚障害児心理学研究	聴覚・音声検査法	行動障害支援論
	3	特別支援教育課程論	障害児心理学研究	特別支援教育授業方法論	聴覚障害児指導法
	4		障害児保健研究	視覚障害児指導法	ゼミ
	5		特別支援教育事例研究		

集中講義：学校における防災教育と心のケア、教師・子ども関係の思想、人間理解の心理学、聴覚言語障害臨床



学校心理・学校健康教育・
発達支援コース（夜間）2年
／養護教諭
宮城十子さん

つながりつなぐ 学びの輪

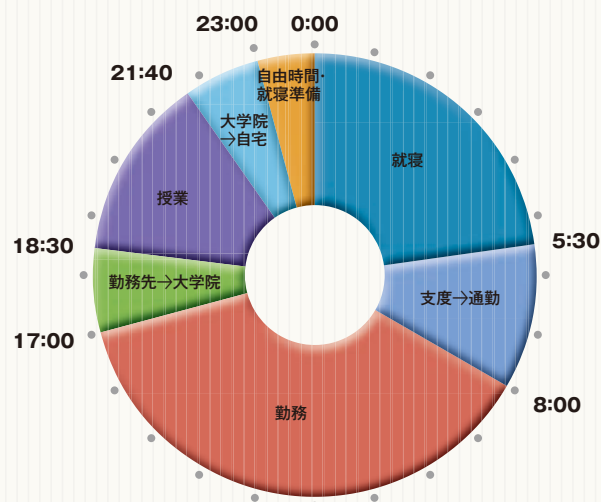
夜間クラスではさまざまな職種・年齢の仲間と共に授業を受けています。講義で新たな知見を学び、自分の実践の意味を再確認し、グループ討議では互いの仕事現場での現状を交えて話が弾みます。仕事の疲れを忘れるくらい多くの刺激を受けています。ゼミでは、指導教員の先生の手厚い指導の下、研究テーマに取り組んでいます。先輩方の研究の状況も伺うことができ、研究とはどのように進めていくものなのか見通しを持つことができます。先生や先輩、同期との交流があり、授業とはまた違う面白さがゼミの時間にはあります。私は仕事と学業の両立に不安がありましたが、長期履修制度を活用し、自分に合ったペースで受講・研究の計画を立てることができています。

1年次の授業スケジュール（令和3年度）

時限	月	火	水	木	金
前期	6	ゼミ	心理統計研究	教育の歴史と教育理論の展開	心理教育アセスメント
	7		心理統計研究演習	学校保健研究	心理教育アセスメント
後期	6	発達アセスメントと支援	子ども理解と学級経営の心理学	子どもの発達支援	
	7	生徒指導と学校教育相談		ゼミ	

集中講座：子どもの発達と学校の関わり

授業がある日の1日



教育コミュニケーションコース

“かかわり”から教育を見つめ直す

今 社会のあらゆる領域でコミュニケーションの重要性が叫ばれています。とりわけ、教育においては、その諸問題がコミュニケーションの問題という観点から語られる傾向にあります。しかし、そこでコミュニケーションのハウツーのみを覚えても限界があります。教育は人と人とのかかわり、人と社会とのかかわりの中で成立するものです。それゆえ、教育の本質的な課題に取り組むためには、まず“かかわり”、すなわち関係性という点について深く考察することが不可欠です。

このコースでは、教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学・歴史学・社会学・心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究を行います。それらを通して、これまでの教育観や教育システムを問い直し、より良い教育コミュニケーションのモデルを探究します。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 近代的教育と「母親」像の形成過程に関する一考察—『ははのつとめ』（明治23年）を手がかりに—
- ▶ 大正新教育の衰退と変容の諸相—関東大震災を契機とした教育言説の変容に着目して—
- ▶ 日本昔話にみる親子関係—『日本昔話通観』を手がかりに—
- ▶ 教室を多声的な場にする授業の研究—対話を促す教材／学習材としての古典に着目して—
- ▶ 教育における「何もしない時間」の持つ意味—埋め尽くす中に「空白」が語るもの—
- ▶ 教師が主体的に学び合える校内研修の研究—ケアリングの関係に基づく対話の視点から—
- ▶ 公立中学校教員が抱く多忙感の構造
- ▶ 韓国入母親の異文化適応に関する研究—言語・コミュニティ・家族に着目して—
- ▶ 中国内モンゴル人青年の民族アイデンティティの諸相—出身民族への所属意識と行動面での表出をめぐって—
- ▶ 外国人留学生の就職決定への過程—TEAを用いたライフストーリーの分析から—
- ▶ 通訳者の視点から見る異文化コミュニケーション能力に関する研究
- ▶ 身近な他者との会話と高校生の進路成熟との関係—教育・職業・人生3側面についての検討—
- ▶ 分かりやすく楽しく漢文学習を援助する方略の探究—視聴覚教材を用いた中学校国語科の授業実践を通して—
- ▶ 学習者の操作活動を促す援助法が内的関連づけに及ぼす影響—中学校数学「座標平面」の授業実践を通じて—
- ▶ 「深い学び」を実現するための「説明活動」の探究

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 吉國秀人	心理学、 教育心理学、 教授学習過程	教えと学びの心理学	学校の授業場面とのつながりを大切に、実験的構想を駆使し、教授学習過程への理解を深めていきたいです。
 教授 中間玲子	自己形成論、 青年期の発達	かかわりの発達心理学	人が生まれてから死ぬまでの時間について、種、個、関係、社会、歴史などを踏まえて考えていきましょう。
 教授 大関達也	教育哲学、 解釈学、 教養論	教えと学びの哲学	文化的背景の異なる他者と共生する社会を築くために、対話による教養教育の可能性を探究します。
 准教授 平野 亮	教育学、 教育史、 教育思想	教育文化の歴史	過去を探り、現在(私たち)の自明性を問い直す歴史のアプローチから、〈教育〉について考察します。
 講師 坂口真康	共生教育社会学、 南アフリカ共和国の 教育研究	多文化共生の社会学、 比較教育学	「常識を疑う」視点を持ちつつ、「共生社会」実現のための教育に関する議論を深めていきましょう。



教育コミュニケーションコースをイメージして描かれた絵

Voice

果てのない学びの旅へ

教育コミュニケーションコース2年

劦野大志さん



天台宗の祖、最澄は「一隅を照らす、これ即ち国宝なり」という言葉を残しています。世間の片隅にあっても、その場所で懸命に努力できる人は尊いものだという思いが込められた語です。私は中学校教員をしながら本学に通っていますが、教育とは何か、コミュニケーションとはいかなる営みなのかといった問いに日々頭を悩ませています。

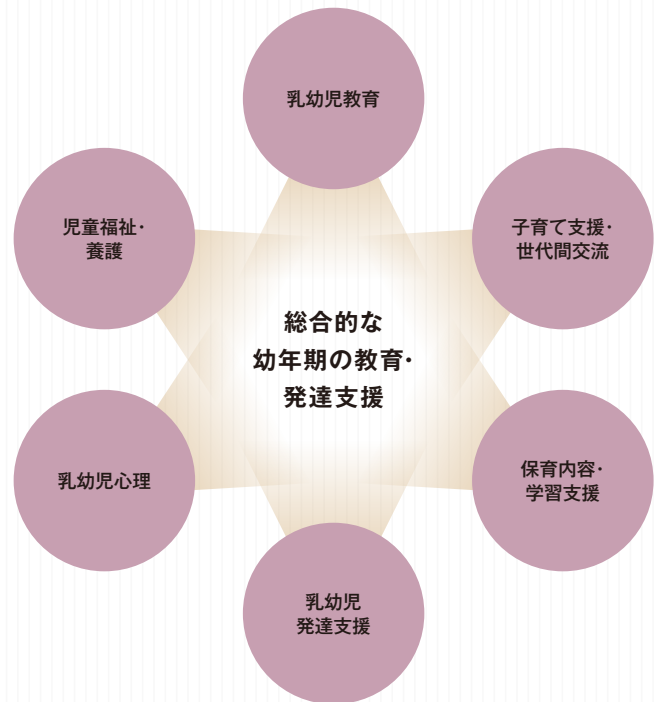
本コースでは、哲学や歴史学、心理学、社会学の視点から、それらの問いに光を当てていきます。しかし、そこに答えがあるわけではありません。一隅の問いを照らすその光は、新たな問いを生み出す光です。問いに光を当て次なる問いを発見していく過程そのものが学びなのかもしれません。果てのない学びの旅を心行くまで楽しめる場所がここにあります。

幼年教育・発達支援コース

幼年期の子どもとともに希望ある未来をつくる

幼年期は、遊びや生活の中の具体的な体験を通して生きる力の基礎を培い、その学びが小学校以降へとつながる重要な時期です。幼年教育・発達支援コースでは、現代にふさわしい幼年期の教育・発達支援の理論と実践の構築を目指しています。そのために、「乳幼児教育」「児童福祉・養護」「乳幼児心理」「乳幼児発達支援」「保育内容・学習支援」「子育て支援・世代間交流」の6分野から教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。さらに、本学の子育て支援ルームや地域の子育て支援施設での実践を通して、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた「子育て支援コーディネーター」を養成します。子どもとともにある今の生活にまなざしを向け、互いに手を取り合い、希望ある未来を切り開いていきましょう。

※子育て支援コーディネーター養成プログラムについてはp.56を参照



主な修士論文のテーマ

- ▶アウトリーチ型産後ケアサービスの有効性と課題—利用経験のある母親へのインタビュー調査から—
- ▶奈良女子高等師範学校附属幼稚園における栽培の教育的意義—3つの生活に着目して—
- ▶幼児期における遊びの中の学び—育みたい資質・能力の観点からの長期間継続する遊びの分析—
- ▶3歳未満児クラスの食事場面における保育者のかかわり—子どもの拒否行動に着目して—
- ▶園行事が子育ての支援において担う役割と課題—運動会前後の保育教諭の意識に焦点をあてて—
- ▶大学生の意欲的な生き方に影響を及ぼす要因の検討—自尊感情の育ちと就学前の母親との愛着関係に着目して—
- ▶幼児の食生活に関する研究—朝食に着目して—
- ▶育児への省察が母親の育児感情に与える影響—乳幼児をもつ母親の精神的回復力に着目して—
- ▶坂内ミツによる遊びの指導論—幼児教育思想史における「誘導」概念の変遷に着目して—
- ▶認定こども園における「午後の保育」のあり方に関する研究—管理職へのインタビュー分析からの検討—
- ▶保育現場におけるソーシャルワーク機能の検討—保育者と家庭相談員の連携に着目して—
- ▶地域子育て支援センターにおける支援員の専門性に関する研究—保育者支援員と当事者支援員の比較から—
- ▶児童発達支援センターにおける併行通園児の就学不安に関する研究—保護者のインタビュー調査から—
- ▶公立認定こども園の子育て支援内容開発に関する研究—「リズムダンス」の創作をととして—
- ▶5歳児の関係性攻撃に与える要因の検討—子どもの社会的スキルと保護者の養育態度に着目して—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 石野秀明	発達心理学、 教育心理学	乳幼児の発達と心理、 幼年期の心理学方法論 (質的研究法)	変化が著しい環境にあっても、子どもが生き生きと過 ごせるよう、掘るべき理論を共に探していきたいと思います。
 准教授 飯野祐樹	保育学、 幼児教育学	幼年期のカリキュラム論と保 育・教育方法、 幼年期の教育支援と職能開発	専門は幼児教育学です。「保育の質評価」を基幹とし、 カリキュラムや保育記録の国際比較を行っています。
 講師 水落洋志	保育内容学、 幼児教育学	幼児の生活と健康、 幼児の生活論演習	未来を担う子どもたちのために、理論と実践を融合す る力を共に高め合ひましょう。
 講師 門脇早穂子	保育内容学、 音楽教育学	幼児と表現、 子育て支援内容開発論	保育におけるさまざまな表現活動が子どもたちの成長 に及ぼす意義を踏まえた上で、豊かな感性を育む実践 的な方法を考えていきましょう。
 講師 茶谷智之	子ども家庭福祉、 子育て支援	子ども家庭福祉論、 子育て支援総合研究	子育て家庭が抱える困難と向き合いながら、子どもが よりよく生ざれる「環境」について共に考えていきま しょう。



子育て支援ルーム「かとうGENKI」



Voice

温かな居場所

幼年教育・発達支援コース

令和3年9月修了

佐藤晃子さん



出産に伴い休学制度を利用した関係で、復学時期や資格取得など教職員の
方に本当に丁寧に対応していただきました。復学時には知り合いが全くない
状況でしたが、気さくで温かい仲間にもまれ、「逆にたくさんの方と出会えて良
かった」と思うほどでした。子どもを連れて遊びに行った際は、院生に限らず学
部生も喜んで来てくれるアットホームさが好きです。

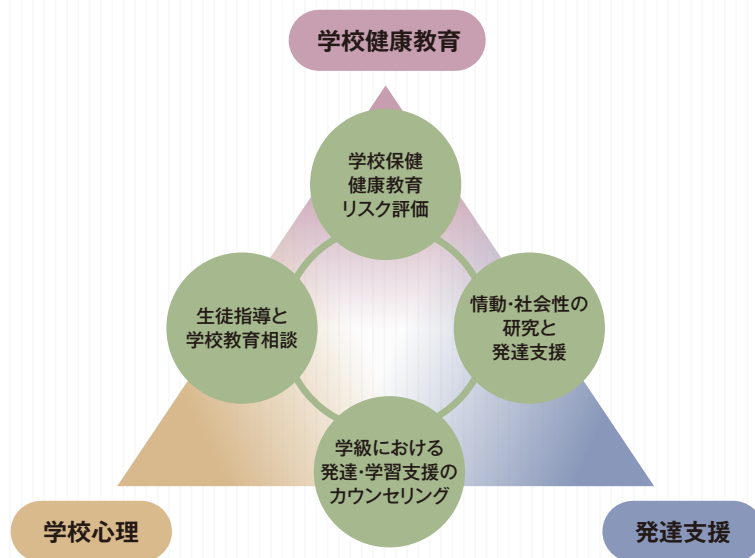
附属幼稚園や子育て支援センターへの実習をはじめ、講義やゼミでは、尊敬
する恩師や仲間の意見に刺激を受けながら突き詰めていく面白さを味わいま
した。論文を書き進める中で出会ったレジリエンス概念は、生涯を通して興味
のある分野になると確信しています。

オンライン授業が選択できるようになり、移動時間を気にせず、新たなツル
ルや留学生と関わったことも大きな学びの一つでした。

学校心理・学校健康教育・発達支援コース

こころとからだの発達支援と教育を究める

学 校心理・学校健康教育・発達支援コースは、「学校心理」「発達支援」ならびに、「学校健康教育」の3つの領域にまたがるコースです。その中で①生徒指導と学校教育相談、②学級における発達・学習支援のカウンセリング、③情動・社会性の研究と発達支援、④学校保健安全と健康・ライフスキル教育、リスク評価を4つの柱として、児童生徒に対する心理教育的対応、予防的介入を含めた発達支援、学校健康・安全教育、リスク評価、校内連携など、学校内外の専門家や諸機関との協働ができる知識と実践力を養います。



授業 を クローズアップ！

健康教育を参加型で学ぶ

健康教育論

担当：西岡伸紀教授



健 康教育の有効性を高めるには、健康課題や防止方策に加え、意思決定やコミュニケーションなどの認知的スキルの学習が、また既存の知識や経験などを活用し解決策を模索する参加型学習などの多様な学習方法が有効です。そのような健康教育を体験的に学びます。

知能検査を体験して学ぼう

発達アセスメントと支援

担当：藤崎亜由子准教授

子 どもの「生きづらさ」を理解した上で、強みや課題を適切に評価し支援につなげていくためのアプローチについて学びます。実際に知能検査等に触れることで、検査が測ろうとしている能力やその限界について理解し、より良い教育的支援を構想する力を培います。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 愛着に課題のある児童の学級適応感に関する研究
- ▶ 中国の経済状況が困難な地域で暮らす子どもに対するレジリエンス育成プログラムの効果
- ▶ 中学生のひきこもり親和性に関する研究
- ▶ 小学生におけるインターネット依存傾向とQOL及び睡眠習慣との関連
- ▶ 児童生徒の学校健康診断及びその結果に対する認識と活用
- ▶ 児童生徒の生活習慣改善の意思、取組、動機、方策などの実態及び認知的スキルとの関連性
- ▶ 他者受容をテーマとした絵本の読み聞かせによる心理的効果に関する研究
- ▶ 子どもの学業失敗場面における教師の知能観・失敗観と言葉かけとの関連
- ▶ 児童期における居場所感と自尊感情及び学校適応感との関連

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 西岡伸紀	学校健康・安全教育、 ライフスキル教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	飲酒、薬物乱用等の危険行動の防止について、健康教育、ライフスキル教育の視点から取り組んでいます。
 教授 藤原忠雄	学校心理学、 スポーツ心理学、 学校教育相談	子どものメンタルヘルス、 教職員のストレスマネジメント	児童生徒・教職員のメンタルヘルス、メンタルトレーニング、学校教育相談の実践的研究に取り組んでいます。
 教授 秋光恵子	学校心理学、 社会心理学	子ども理解と学級経営の心理学、 心理統計研究法演習	子どもたちが認め合う学級経営や学校内外の連携・協働に関心のある皆さんとの出会いを楽しみにしています。
 教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
 准教授 藤崎亜由子	発達心理学	発達アセスメントと支援、 情動・社会性発達論	人間・子どもの面白さを再発見し、教育や支援につなげるお手伝いができればと思います。
 准教授 細谷里香	発達心理学	子どもの発達支援、 発達・学習支援特論	認知・社会的発達と他者との相互作用に関心があります。発達や学習について多角的に研究したいと思います。
 准教授 藤原和政	学校心理学、 教育心理学	生徒指導と教育相談、 学校臨床心理学演習	子どもの学校適応の促進を目的とした援助について、心理・社会面学習面に注目した研究に取り組んでいます。

学校心理・学校健康教育・発達支援コースで得られる受験資格

所定の条件を満たすことで受験が可能になります。

- ▶ 学校心理士
- ▶ 臨床発達心理士
- ▶ カウンセリング心理士

Voice

自分の成長が 子どもや同僚の成長に

学校心理・学校健康教育・発達支援コース
令和4年3月修了
久恵浩二さん



「教員の仕事は、子どもに物事を教えることだ」、そう思っていた私に「教員の仕事は、同僚と協働し、子どもに寄り添い、支え、学びを促すことだ」という意識を芽生えさせたのは、このコースで心と体の発達を包括的に学ばせてくれた先生方と、互いに刺激を与え合い学び合った仲間たちとの出会いでした。

多様な人たちと交流し、新しい知識を得ることで、成長が促される。これは子どもだけに起こるものではなく、大人であってもまた起こるものなのだと、このコースに入って実感しました。そして、学校現場に戻った時は、自分自身が子どもや同僚の成長の糧になれるように頑張ろうという意欲を持てたのも、このコースのおかげです。

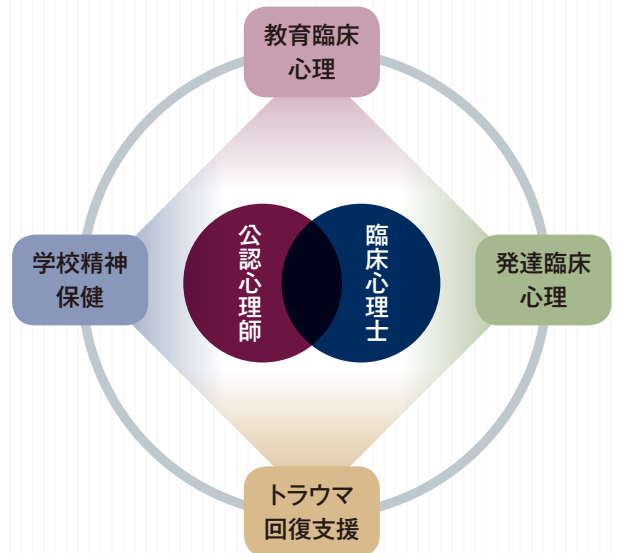
臨床心理学コース

学校で職場で地域で悩める人たちと共に考え、支援する人材を養成する

臨 床心理学コースでは、生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。

心理職には、①面接や心理テストなどを用いた心理査定技術、②臨床心理面接援助技法を適用した的確な対応・処置能力、③地域の心の健康活動にかかわる人的援助システムのコーディネートやコンサルテーション能力、④心理臨床実践に関する継続的な研究と社会への還元が求められます。これらに精通するための基礎的な知識と技術を身に付けることを目指しています。

そこで、教育臨床心理、発達臨床心理、学校精神保健、トラウマ回復支援の4つの柱（分野）を設定し、その4つが協働して立体的なアプローチを行っています。教員の専門領域は、力動論的アプローチ、行動論的アプローチ、EMDRなど多様で、幅広い方法論を学べます。



臨床心理学コースは昼・夜両クラスともに神戸ハーバーランドキャンパスで授業を行います。
公認心理師を目指す学生も夜間クラスの授業を履修することで臨床心理士受験資格が得やすくなりました。

主な修士論文のテーマ

- ▶ マインドフルネス傾向とPTSD症状の関連—トラウマ関連の否定的認知や回避行動を媒介して—
- ▶ 初任心理職者のリアリティ・ショックに組織社会化が及ぼす影響の検討
- ▶ 年代別にみるキャリアビジョンとワークエンゲイジメント及び職業性ストレスの研究
- ▶ 発達障害のある子どもを育てる母親のPTGにおけるコーピングとソーシャルサポートの役割
- ▶ PBS（ポジティブ行動支援）を活用した校内支援体制構築が教師の支援行動に及ぼす効果
- ▶ 眼球運動が脅威刺激に対する注意に与える影響
- ▶ セクシュアル・マイノリティが性自認や性的指向をカミングアウトするに至るプロセス
- ▶ 日本語版IGTにおける健康群の類型化—潜在クラス分析及び成長混合モデルを用いて—
- ▶ 青年期におけるグループ箱庭心理教育プログラムの試み—対人恐怖心性に着眼して—
- ▶ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行による保育士の体験プロセスの検討
- ▶ ライフストーリーワーク実施者の内的体験過程に関する質的研究

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
教授 遊間義一	臨床心理学、 犯罪心理学、 心理査定	司法・犯罪分野に関する理論 と支援の展開、 臨床心理統計研究法	犯罪心理学と心理査定が専門です。犯罪原因論および投映法の一つであるTAT検査の研究を行っています。
教授 市井雅哉	臨床心理学、 認知行動理論、 EMDR	トラウマ回復支援論I・II	PTSD、ストレス、不安、うつなどの査定、効果的な対処方法、援助方法について研究しています。
教授 岩井圭司	精神医学、 精神保健学、 心的外傷(トラウマ)論	保健医療分野に関する理論と支援 の展開(児童青年精神病理学)、 心の健康教育に関する理論と実践	強くなくてもいい、弱さを抱えてしぶとく生きる、をモットーにしています。臨床も研究も、人生も。
教授 海野千畝子	子ども虐待対応臨床、 統合的心理療法、 動物介在療法	被害者の心のケア、 臨床心理基礎実習	現場に役立つ介入について研究しています。臨床技法には、解離に焦点を当てた心理療法を実践しています。
教授 宇治雅代	精神医学、 臨床行動科学、 精神分析的精神療法	保健医療分野に関する理論と 支援の展開	精神療法に重きを置く精神科臨床と心理社会的視点からの研究を行う中で、常に好奇心と探究心を持ち続けたいと考えています。
教授 遠藤裕乃	臨床心理学、 精神力動的的心理療法	心理支援に関する理論と実践 I・II	精神力動的的心理療法に家族療法、短期療法の技法を取り入れ、実効性のある心理支援モデルを探索しています。
准教授 嶋崎まゆみ	行動分析学、 応用行動分析	発達障害心理臨床特論、 福祉分野に関する理論と支援 の展開	知的障害や発達障害のある子どもの療育と、保護者や教員のサポートを行っています。
准教授 佐田久真貴	臨床心理学、 応用行動分析学	教育分野に関する理論と支援 の展開、 発達障害心理臨床特論	臨床技術の研鑽と、さまざまな専門家との協働を大切に、子どもたちとその周囲の人々への支援に取り組んでいます。
准教授 上田勝久	臨床心理学、 精神分析的心理療法	教育相談論、 保健医療分野の理論と支援 (精神保健学特論)	力動的、精神分析的な実践知を、さまざまな現場で柔軟に活用していく方法について模索しています。
准教授 伊藤大輔	認知行動療法、 ストレス科学	臨床心理学特論、 心理支援に関する理論と実践I	実証的根拠に基づいた心理学的支援(被害者支援や復職支援、ストレスマネジメント等)を検討しています。
准教授 永山智之	心理臨床学、 力動的的心理療法、 思春期・青年期の人格発達	臨床心理実習、 教育分野に関する理論と支援 の展開	①箱庭や描画、グループの現代的活用法②心理療法でのミクロな変化を捉える理論・技法を研究しています。
助教 池田浩之	障害者就労支援、 認知行動療法、 発達障害	産業・労働分野の理論と実践、 福祉分野の理論と実践	認知行動療法を通じた、精神障害や発達障害のある方々への就労支援を専門としています。

Voice

豊かな学び、 人とのつながり



臨床心理学コース2年

木村芽生さん

高い専門性を生かして手厚く指導される先生方、多様なバックグラウンドや価値観を持つ熱心な仲間と共に、専門家として必要なスキルを磨き、未熟な自分自身を鍛えられる、恵まれた環境に感謝しています。誰もが自分らしさを受け入れ、よりよく生きられる社会づくりを目指して、研究や臨床と真摯に向き合い、日々研鑽を積んでいます。ここで得たかけがえのない時間や豊かな学び、人とのつながりは、必ず将来の糧になると信じています。

多角的な視点の 涵養



臨床心理学コース2年

西尾優希さん

臨床心理学コースでは、多彩な専門分野の先生方から学派を横断した視点で丁寧に指導いただけます。また、ストレート学生だけでなく社会人、現職教員の方も在籍されており、さまざまな視点から意見交換ができ、幅広いものの見方につながっています。所属ゼミでは、「頭を悩ませ心を耕せ」をモットーに、臨床・研究の双方からきめ細かな指導をいただいています。多様化する社会の中で求められている、多角的な視点の涵養を日々目指しています。

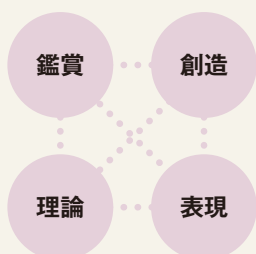
芸術表現系教育コース

芸術への理解と技能を深め新たなステージへ

芸 術表現系教育コースは、音楽と美術における芸術教育とこれに関わる諸事象を研究領域とし、表現や鑑賞の能力に関する総合的理解を基盤として、芸術教育に関する理論と実践の融合を目指し現代社会の抱える諸問題に対処するための教育研究を行っています。音楽分野は声楽、器楽、音楽科教育学等を柱に、美術分野は絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史学、美術科教育学等を柱に、それぞれ理論と実技の両面における創造的かつ実践的な研究に取り組みます。芸術棟には、視聴覚室、ML教室、合奏練習室、ピアノ練習個室、音響設備の整った講堂および絵画、彫塑、デザイン、工芸、窯芸、版画等の充実した実習室を完備しているほか、アート・ラボ、教材作成や授業研究のための演習室や院生研究室もあり、高度な演奏・制作・研究活動が可能です。



音 楽は、現代社会において見過ごされてきた感性の回復を目的とし「理論、創造、鑑賞、表現」という4つの視点に基づいて実践的な音楽教育の確立を目指しています。



美 術は、理論と制作の両面における創造的かつ実践的な美術教育の確立を目指し「かんがえる、つくる、みる、つたえる」という4つの作業を相互に関係付けながら新しい教育方法を探っています。



主な修士論文のテーマ

- ▶ 中学校音楽科における音楽的基礎力育成のための教材開発に関する研究—フォルマシオン・ミュージカルを視点として—
- ▶ 児童の表現力育成をめざす音楽指導に関する研究—小学校音楽科における表現活動の本質を求めて—
- ▶ 思いや意図を持った歌唱表現を育むための指導法—言語活動に着目して—
- ▶ 絵画を用いて「聴く」耳を育む小学校音楽科教材の研究
- ▶ 中学校音楽科における「永続的な理解」につながる学びと評価—「逆向き設計」と「汎用的能力」を用いた単元開発を通して—
- ▶ メディア・リテラシー教育におけるポスターデザイン学習の可能性
- ▶ 美術教育における学習者の発想支援方略に関する研究
- ▶ サム・フランシスの作品における独自性を形成する諸要素についての一考察—1950年代から1960年代の作品を中心に—
- ▶ 美術科教育におけるワークショップ型授業の可能性—協働学習の視点から見たワークショップ型授業—
- ▶ 協応諸感覚を適応させた総合的・領域横断的な芸術表現学習についての一考察—図画工作科と音楽科を関連づけた題材を通して—

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
音楽	 教授 新山眞弓	ソルフェージュ、 ピアノ奏法研究、 電子オルガンに於ける 編曲・演奏	音楽理論の基礎Ⅰ (ソルフェージュ)	音楽科授業の歌唱教材やピアノ独奏曲等の音楽表現に直結した楽曲分析・演奏解釈の研究に取り組んでいます。
	 教授 野本立人	声楽、 合唱	音楽表現の知識と技能Ⅰ(声楽)、 音楽表現の創意Ⅰ(声楽)	声楽曲および合唱曲の演奏と解釈。発声技法の実践的研究。また、合唱指導法についても研究しています。
	 教授 河内 勇	器楽(クラリネット)、 吹奏楽指揮法、 合奏指導法	音楽表現の知識と技能Ⅲ(器楽)、 音楽表現の創意Ⅲ(器楽)	専門はクラリネット。高度な専門性を生かした個人指導から初級者のための集団指導まで幅広く研究しています。
	 准教授 岡本信一	音楽科教育学、 教育方法学、 カリキュラムデザイン	音楽科の教材開発と実践研究、 音楽科カリキュラム研究	音楽に対する子どもの認知過程を視点としたカリキュラム開発や授業研究を、学際的・実践的に行っています。
	 教授 河邊昭子	音楽科教育学		音楽科の授業構成論を踏まえ、実践的知識と実践的思考を伴う教材開発力の育成を目指します。
美術	 教授 高木厚子	図画工作科教育、 美術科教育	図画工作・美術科学習論、 図画工作・美術科教育研究	図画工作・美術科の授業および学習支援について、心理・認知過程に着目しながら研究・教育を進めています。
	 教授 喜多村明里	美学美術史学、 イタリア美術文化史	美術史学の基礎と批評、 美術批評と「鑑賞」教育	美術作品をめぐる感性と知性の融合と拡張、真の芸術体験と鑑賞批評の教育について、真剣に考えよう。
	 教授 村上裕介	彫刻 (彫塑、乾漆、木彫など)	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、 造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑表現を通じて人と美術の関わりについて思索し、制作および伝える(教育)力の向上を目指します。
	 教授 大西 久	絵画 (素描、水彩、油彩画など)	造形活動の基礎Ⅰ(絵画)、 造形表現の知識と技能Ⅰ(絵画)	絵画における「描く」「見る」「考える」の意義と関係について、多様な視点と柔軟な思考で探究しよう。
	 教授 浅海真弓	工芸 (陶芸、立体造形など)	造形活動の基礎Ⅳ(工芸)、 造形表現の知識と技能Ⅳ(工芸)	工芸の実技と理論を担当。陶芸を中心に、工芸の素材・技法を用いた造形表現の可能性を探究しています。
	 教授 前芝武史	彫塑・デッサン、 美術解剖学	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、 造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
	 教授 垣内敬造	デザイン (CI、デザイン理論、デザイン史)	造形活動の基礎Ⅲ(デザイン)、 造形表現の知識と技能Ⅲ(デザイン)	歴史や理論からデザインや職業としてのデザイナーの概念を捉えた上で、実践に結び付けて体得します。

Voice

現場を見据え、自分で彩る大学院生活



芸術表現系教育コース(音楽)
令和4年3月修了
原崎渉さん

私は学部卒業後に特例制度を利用して大学院に進学し、教員としての将来を見据えながら勉学に励みました。1年時は専門家の指導の下で実技を高めたり知識を増やしたりと、主に音楽と向き合いながら学びを深め、2年時から、非常勤講師として現場を見ながら研究を進めました。学部とは全く異なる研究の場。多くのサポートのおかげで、鮮やかな大学院生活を送ることができました。

美術の教育から開く
保育と子ども理解

芸術表現系教育コース(美術)
令和4年3月修了
幸田瑞穂さん

幼児の“泥砂遊びから描画”に至る多くの遊びは、子どもになくってはならないものです。保育者として動めていましたが、幼児教育の枠を超えて子どもの姿から見える多様な表現について理解しようと芸術表現系(美術)を専攻しました。ゼミ、授業や演習で学び得た理論は修士論文で取り組んだ米粉粘土の有用性についての研究の基盤となり、自身の視野を大きく広げることにつながっています。

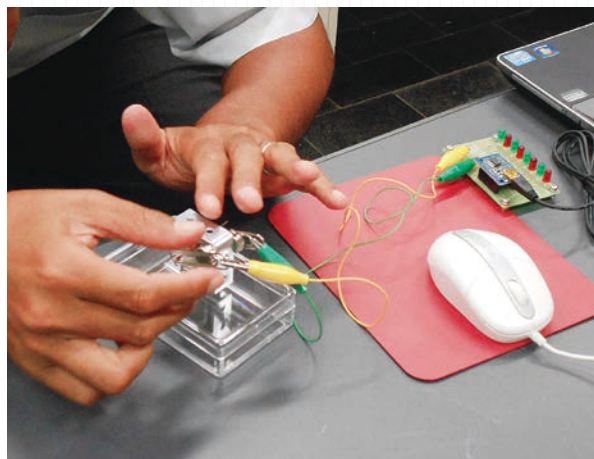
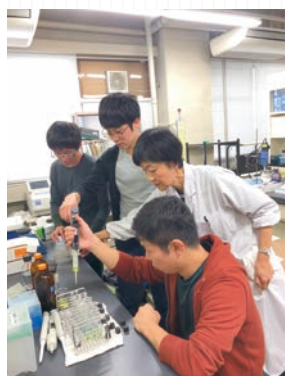
生活・健康・情報系教育コース

Imagination & Creation for Life — 想像から創造へ

生活環境の変化に対応するためには、「健康で豊かな生活を営む力」や「主体的に問題解決する能力」が求められています。このコースでは、これらの力を培うために必要な高度な知識と技能を身に付けるとともに、授業の内容と方法を開発・実践・省察することに取り組めます。

そして、保健体育、技術・家庭、工業、情報に関わる専門的な教科内容を学び、各教科の教育や授業の実践を深化させることを目指します。また、教科の枠を超えたスポーツ文化、食育、健康、環境、情報（ICT活用）、ものづくり等の複合領域についても教育・研究に取り組めます。健康教育について重点的に学びたい方のために、学校心理・学校健康教育・発達支援コースと連携した「健康教育実践プログラム」も開設しています。

合言葉は、“Imagination & Creation for Life”。想像したことは創造できる。幅広い研究を通して豊かなライフスタイルの実現を目指します。



Voice

つながりを大切に、 出会いに感謝

生活・健康・情報系教育コース
令和4年3月修了
バート理衣さん



栄養教諭へ任用替えとなってから10年余り、その専門性について問い続けてきました。栄養学を中心に学んできた私にとって、教育に関する学びを深めることは、その答えを考える上で意味があると考えて入学を決めました。本コースでは、食と関係のある健康、運動、ライフスタイル、そして、情報教育に関する授業などがあります。現職教員をはじめいろいろな立場の方々と学ぶ機会があり有意義でした。研究では、常に目的を見失わないように指導していただきました。ボランティアで子ども食堂や学習支援にも関わり、充実した2年間でした。全てが問い続けてきたことへの答えにつながっていると感じています。さまざまな出会いに感謝しています。

Voice

体育科教育を 広い観点から 学び直した2年間

生活・健康・情報系教育コース
令和4年3月修了
田中宏樹さん



入学前、私が小学校教員を務めていた時は、子どもたちのために良い授業ができることを第一目的とし、授業のアイデアや、自分自身の指導力を高めるためのスキル獲得に強く関心を持っていました。しかし、入学後は、方法論や指導論からはいったん距離を置き、「体育とは何なのか」「体育とスポーツの違いは何なのか」「体育はどうあるべきなのか」といった、体育哲学や体育原理の観点から、体育科教育について学び直しました。また、コースには、運動生理学やバイオメカニクスやスポーツ心理学など、さまざまな分野をご専門とされている先生方がおられ、新たな学びの機会をいただきました。私にとって大学院生活は、学問と真正面から向き合う日々でした。

Voice

刺激に満ちた 深い学び

生活・健康・情報系教育コース
令和4年3月修了
辻村堅治さん



授業以外の校務が多忙となる中、教材研究の時間が十分に取れず授業に向かいながら内容を考えることが増えていました。専門とする工業の技術の進化も相まって教員としての力が枯渇していると感じていました。学ぶことに飢え偶然知った、兵庫教育大学の中学校技術科教員ライセンスセミナーを受講する中で、学ぶことの楽しさを実感し、大学院への進学を考えるようになりました。全国を対象にした調査研究や、データサイエンスの手法、令和4年度から高校工業科で始まる「工業情報数理」の研究など、じっくりと学び考えることができました。知的刺激をいただいた先生方のご指導やゼミの仲間との交流は今後の教員生活の励みになります。

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 上原 禎弘	身体教育学、 体育科教育学	保健体育科授業研究	優れた体育授業の創造を目指し、教員の言語的相互作用や学習過程の組織化について実践的に研究しています。
 教授 森田 啓之	体育・スポーツ原論、 身体教育学	スポーツ文化論、 地域スポーツの運営と課題	学校体育(授業や部活動)の在り方、また社会体育(地域スポーツクラブ)との関係について研究しています。
 教授 小田 俊明	バイオメカニクス、 運動生理学、 医用工学	身体運動科学、 運動指導の基礎と応用	科学的な運動指導ならびに個に応じた指導には、スポーツ科学の基礎知識が必要条件と考えています。
 准教授 中須 賢巧	健康・スポーツ科学、 身体教育学	保健体育科教育論、 スポーツ心理学	専門は体育心理学、体育科教育学。特に体育授業における動機づけ雰囲気に関心があり、研究を進めています。
 教授 西岡 伸紀	学校健康・安全教育、 ライフスキル教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	飲酒、薬物乱用等の危険行動の防止について、健康教育、ライフスキル教育の視点から取り組んでいます。
 教授 筒井 茂喜	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教材研究・授業づくり	状況判断力を高める指導、運動イメージの形成を促す指導、身体コミュニケーションに着目し集団凝集性を高める指導について研究を進めています。
 教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
 教授 小山 英樹	電子工学	電気・電子工学とものづくりの 技術、 計測・制御システム教材研究	LEDやトランジスタなどの電子部品の特徴を生かした、シンプルで使いやすい教材の開発を進めています。

主な修士論文のテーマ

- ▶ 陸上競技中長距離選手の競技力に下腿筋の力学的特性が与える影響
- ▶ 小学校体育授業における教師の言語的行動に関する研究—運動前後の Cue とフィードバックに焦点を当てて—
- ▶ 「学校教育の一環」たりうる運動部活動のあり方—目的および方法の視点から—
- ▶ 中学校体育における生徒の劣等コンプレックスに関する研究
- ▶ 調理方法別にみるキャベツの嗜好特性
- ▶ 包括性教育の視点をふまえた高等学校家庭科の授業構想
- ▶ 小学校の食育における栽培活動を支援するための地域連携のあり方に関する検討
- ▶ 自立活動におけるプランニングを対象とした ASD 児向けデジタル教材の検討
- ▶ システム工学の考え方に基づく中学校技術科における最適化思考の構造化
- ▶ 中学校理科「電流とその利用」のための科学的な概念形成を支援するアニメーション教材の開発

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 森廣浩一郎	科学教育・教育工学、 教育工学	教育情報コミュニケーション、 総合学習情報論	学びを支援するシステムの構築やそれを用いた教育実践について、さまざまな学校種・教科等で考えてみませんか。
	教授 森山 潤	技術教育、 情報教育、 ICT活用	技術教育カリキュラム論、 教育の情報化とICT活用	技術・情報教育における学習者の認知的実態の分析に基づく授業デザインやICT活用について実践的に研究しています。
	准教授 掛川淳一	教育工学、 学習支援システム	情報活用実践論、 情報化教育環境開発論	知能工学・認知科学的なアプローチに基づく学習／教育支援システムについて、一緒に検討していきましょう。
	准教授 小川修史	教育工学、 Assistive Technology、 特別支援教育	教育情報工学、 教育の情報化とICT活用	障害者のQOLを高めるICT活用や、そのための教員研修について研究しています。一緒に研究しませんか。
	講師 緒方思源	感性工学、 ソフトコンピューティング	教育情報ネットワーク活用論、 教育情報コミュニケーション	データ科学・AIを用いて感性・芸術の世界で価値を創造できる人材の育成に役立つ感性工学とAI芸術の研究を進めています。
	准教授 澤山郁夫	教育工学、 情報教育	情報社会と生活、 教育の情報化とICT活用	e-Learningやアプリ開発を通して、問題解決や行動変容のための方法論を研究しています。無気力・無関心に陥らない新しい「学びの仕組み」を一緒に考えましょう。
	助教 清水優菜	動機づけ論、 心理・教育統計	情報活用実践論	動機づけ (motivation) や非認知能力の観点から、学校に限定されない「教育」の効果について定量的な方法論に基づき研究をしています。
	教授 岸田恵津	調理科学、 食育・栄養教育	食育の考え方と進め方、 生活科学演習	食の課題解決に向けて科学的にアプローチします。研究を通して物事の本質を見つめる習慣を養いましょう。
	教授 永田智子	家庭科教育学、 教育工学	家庭科授業論、 教育の情報化とICT	小中高の家庭科教育、特に授業づくりについて研究しています。授業におけるICT活用についても研究しています。
	准教授 永田夏来	家族社会学、生活科学、 家政・生活学一般、 生活経営学	ライフスタイルと家族	家族社会学を専門としています。若者の結婚や妊娠出産を中心に、社会について考えてみませんか。
	講師 小林裕子	家庭科教育学、 被服学、 「災害時の食」教育	初等家庭科教材研究・授業づくり	家庭科教育上の課題解決を目指す授業や教材の開発、「災害時の食」教育の研究を進めています。
	助教 星野亜由美	調理学、 栄養学	ライフスタイルと健康	食習慣・生活習慣と栄養や、食品の「おいしさ」評価など、食教育へ応用するための基礎的研究をしています。
	教授 溝邊和成	授業論、 カリキュラム論	ライフスタイルと環境	教科横断的な授業における教材・指導・カリキュラムに関わって研究を進めています。

障害科学コース

総合的な専門性に裏付けられた支援力

障害には、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害（LD、ADHD、ASD）、重複障害等があり、これらは多様な教育的ニーズとして捉えることができます。インクルーシブ教育システムでは、多様な教育的ニーズのある児童生徒が同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供するための「連続性のある多様な学びの場」が求められます。

障害科学コースでは、それに応えるために、「実践する力」「連携する力」「研究する力」の3つの力の養成を目指しています。この「実践力・連携力・研究力」は、次の3つの専門性で構成されます。

- ① 特別支援教育で対象となる多様な障害に関する特性の理解
- ② 障害児・者、保護者、学校・学級等への支援
- ③ 地域における支援システムの構築

これらについて、教育学、心理学、生理・病理、指導法、福祉・コーディネイトといった多様な学問領域からのアプローチを学ぶことにより総合的に3つの専門性を高めていきます。

■総合的な専門性の概念図



主な修士論文のテーマ

- ▶ 聴覚障害児の日本語学習に対する聴覚特別支援学校教員の意識調査
- ▶ 外国にルーツをもつ児童生徒の特別支援教育における現状と課題—特別支援学級入級の際の校内・校外連携に焦点を当てて—
- ▶ 「児童心理治療施設併設校」における愛着に課題がある子どもへの支援に関する研究
- ▶ 視覚障害教員のオンライン授業の現状と活用に関する研究
- ▶ 小中学校に在籍するギフテッド児・2E児に対する指導・支援に関する研究
- ▶ 高等学校における通級による指導をめぐる校内体制の整備に関する研究—学級担任による関与からの検討—
- ▶ 皮肉理解に関する応用行動分析学に基づく理論的検討と自閉症スペクトラム児への指導研究
- ▶ ナラティブを用いた言語指導に関する研究—日本語版ストーリーチャンプスを用いて—
- ▶ イタリアにおけるインクルーシブ教育の充実に資する関係機関の連携に関する研究—エミリア・ロマーニャ州のプログラム協定に着目して—
- ▶ パラリンピアンへの障害受容・適応の過程に関する研究—ライフストーリー（語り）に着目して—
- ▶ 障害のある幼児を育てる母親への「親支援講座」による効果の検討
- ▶ 超重症児における快・不快状態の評価法についての検討—教育実践での鼻部皮膚温度活用の試み—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 井澤信三	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	障害児心理学研究、 行動障害支援論	個人、学校、地域における応用行動分析学に基づいた アプローチの実践と研究を一緒にやりましょう。
 教授 石倉健二	自立活動、 心理リハビリテーション、 協調運動困難	肢体不自由児指導論、 病弱児指導論	自立活動や関係諸機関との連携を通じて、発達と生活 に関する困難の軽減について実践と研究を行っています。
 助教 内海友加利	肢体不自由教育学、 個別の指導計画の作成に関わ る研修プログラム、 教師教育の理念と制度	特別支援教育総論、 特別支援教育論	協働性に基づく専門性が重要となっています。協働 性とは何か、どう実現するのか共に深めたいと考え ます。
 教授 高野美由紀	早期発見・早期支援、 医療と教育の連携、 知的障害児者とのインタラク ティブな語り	障害児病理、 障害児保健研究	「子ども、家族、支援者がそれぞれに充実した一日を送 る」を一緒に追究していきましょう。
 講師 丹所 忍	先天盲児の空間認知、 盲学校におけるセンター的取 り組み	視覚障害児教育論、 視覚障害児指導法	見えない・見えにくい子どもの学びから、見やすく・分か りやすい教育の在り方についても考えています。
 講師 中島武史	ろう教育研究、 社会言語学、 障害学	聴覚障害教育基礎技能、 聴覚障害児指導法	手話やリテラシーなどをキーワードに、ろう教育につ いて一緒に考え、新たな実践を探ってみませんか。

授業をクローズアップ！

心理学からの障害の理解と支援へ！

障害児心理学研究

担当教員：井澤信三教授、石倉健二教授



知 知的障害等のある人を理解・支援する
ために、発達心理学(社会的情動、
共同注意、感覚・知覚と運動動作等)と学習
心理学(オペラント・レスポナント条件付
け、認知的アプローチ等)という2つの視点
から、講義と演習を通して具体的に学んでい
きます。

不器用さのある子どもへの多面的なアプローチを！

不器用さのある子どものアセスメントと支援についての研究

担当教員：石倉健二教授

発 達神経症群の一つとして注目さ
れ始めた「DCD(発達性協調運動
症)」に代表される、不器用さのある子どもに
ついての文献研究、実態調査と介入研究、
関係する多職種・他機関と連携した実践と研
究を行っています。



Voice

仲間と共に深める 専門性

障害科学コース
令和4年3月修了
水野仁美さん



特別支援教育の現場に入って自分はどうしたら子どもたちにより良い
学びを提供できるか悩み、もっと学ばなければ！と障害科学コースへの入学を
決めました。実際に入学して大正解でした。障害科学コースの先生方からは多
角的に、丁寧に、特別支援教育に関することを教えていただけました。さらに、
それを現場にどう生かしたらよいか、授業でのグループワークや課題で考える
ことができました。また、同じコースにはそれぞれ多様な経験、専門性のある仲
間があり、仲間同士で学び合えることがとても楽しかったです。先生方からも、
同じコースの仲間からも、誰かと共に学び続けることの喜びが教員としての専
門性を深めることを学びました。

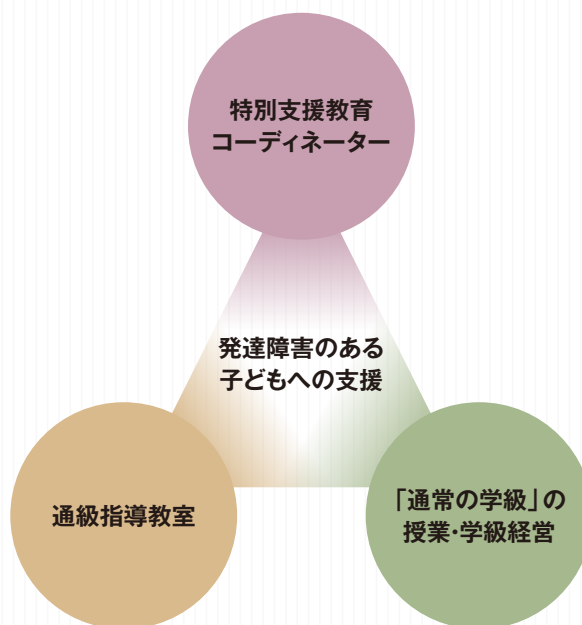
発達障害支援実践コース

すべての子どもにより良い支援を!

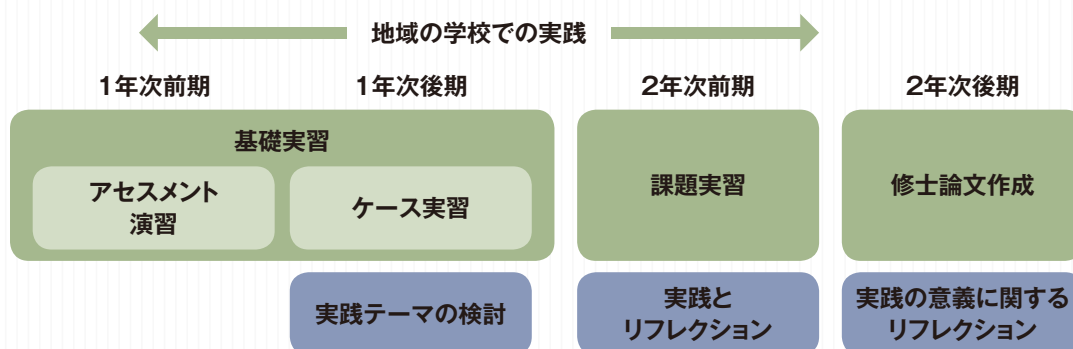
特 別支援教育における課題の解決を自ら主体的に考え、地域や学校で中核となって活動する特別支援教育担当者の育成を目指しています。通常の学級担任・教科担当者にも発達障害支援の実践力（例えば、ユニバーサルデザインの授業）が求められていることから、ストレート学生も入学対象となっています。

発達障害支援に当たって「特別支援教育コーディネーター」「通級指導教室担当者」「特別支援教育を理解して通常の学級において授業・学級経営の工夫をする教員」の人材育成を念頭に、授業科目の領域が設定されています。2年間を通して、地域の教育委員会や学校と協働した学校現場実習を組んでいることも大きな特色です。

コーディネーターや通級担当者には、ミドルリーダーとして教員間コミュニケーションを促進して、特別支援教育の体制を推進する役目もあります。これから、通常の学級担任には、インクルーシブ教育を見据えて授業をデザインする力量も求められます。本コースはこのような新しい役割にも積極的に対応しています。



■学校実習が核となる2年間の学び



主な修士論文のテーマ

- ▶ 国語の学習に困難がある子どもへの抽象語理解を促す語彙指導の試み—発達モデルを考慮したイラストカードを活用して—
- ▶ 配慮を要する生徒の中学校運動部活動への参加を促す実践に関する検討—基本スキルの習得と目標の設定を柱として—
- ▶ 通級担当教員と通常学級担任との連携を促す支援—連携プロセスの構築を目指して—
- ▶ 特別支援学級担任への保護者連携に関する研修効果—保護者とのコミュニケーション促進を目指して—
- ▶ 教師の“まなびほぐし”を促す研修デザインの検討
- ▶ ユニバーサルデザインの視点から考える小学校理科の授業づくり—この規則性を見いだすための実験活動—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 宇野宏幸	発達障害の神経心理学、 通常学級の授業づくり、 地域リーダー論	発達障害研究、 特別支援教育リーダーのための 創発的コミュニケーション	通常学級の特別支援教育(授業づくり)、学校づくりや地域支援のためのリーダーシップに興味を持っています。
 教授 岡村章司	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	学習障害児指導法演習、 家族支援心理学	ASDやその家族への支援、およびコンサルテーションやチーム支援に関する研究をしています。
 准教授 石橋由紀子	特別支援教育学	コーディネート概論、 コーディネート研究	インクルーシブ教育、特別支援学校のセンター的機能等について興味を持っています。

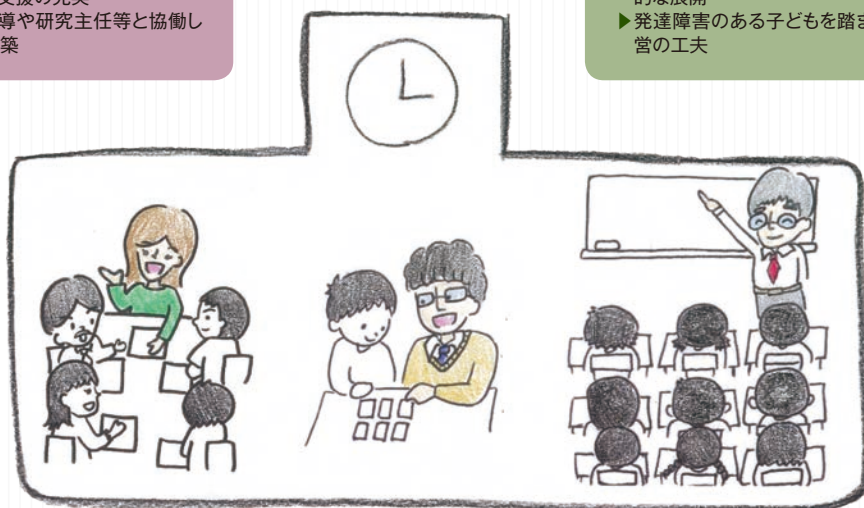
3つの領域で目指す実践力の向上

特別支援教育コーディネーター

- ▶ 特別支援学校のセンター的機能を発揮しての地域支援の充実
- ▶ 校内で、生徒指導や研究主任等と協働しての支援体制構築

「通常の学級」の授業・教科担当者

- ▶ 授業のユニバーサル・デザイン化の効果的な展開
- ▶ 発達障害のある子どもを踏まえた学級経営の工夫



通級指導教室担当者

- ▶ 発達障害のある子どもを対象とした個別的な学習・生活指導の力量アップ
- ▶ 学級担任や保護者との連携を図り、子どもの教育ニーズを的確に把握

Voice

学ぶことの楽しさ

発達障害支援実践コース

令和4年3月修了

不破利恵子さん



特別支援学級の担任になったことをきっかけに大学院で特別支援教育や発達障害について学ぼうと思い、本学に入学しました。ここでの学びは、特別支援教育に関する専門的な知見から、その土台となるようなコミュニケーションについて、また、今までの自分の考え方を振り返ったり思考を揺さぶられたりするものまで多岐にわたるものでした。

これからの学校教育に関心のあるさまざまな職種の仲間との意見の交流も、学びを深めてくれました。この2年間で多様な思考の広がりと学ぶことの楽しさを実感できたと感じています。特に、ゼミでの学びはとても刺激的で、今まで知らなかった世界に目を向けるきっかけとなりました。楽しく学び続ける教職員でありたいと思います。

教育現場等に実践力の高い
教職員を送り出す

専門職学位課程（教職大学院）

授与される学位…教職修士（専門職）

ニーズと実践性に根差した
高度な教育研究を推進

教育実践高度化専攻

こんな人を募集します！

学校経営コース 昼 F	校長や教頭などの学校経営専門職、指導主事などの教育行政専門職に必要とされる、課題解決力や組織経営力を高めます。	学校管理職、教育行政専門職（候補者含む）
教育方法・生徒指導 マネジメントコース 昼 夜	児童生徒理解、指導と評価などの視点から、学校のさまざまな教育活動をマネジメントできる教員の養成を目指します。	小学校、中学・高校教員、教員志望者
言語系教科 マネジメントコース 昼 夜	ことばの教育に関わる諸問題について指導法および専門的事項を幅広く探究し、言語文化に関する教育実践力を養成します。	小学校、中学・高校（国語・英語）教員、教員志望者
社会系教科 マネジメントコース 昼 夜	児童生徒の社会認識を深め、現代社会をよりよく生きる知性と勇気を育むことのできる教員の養成を目指します。	小学校、中学（社会）・高校（地歴・公民）教員、教員志望者
理数系教科 マネジメントコース 昼 夜	理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発の習得、研究を通じた算数・数学と理科の教育を担う人材を育成します。	小学校、中学・高校（数学・理科）教員、教員志望者
小学校教員養成特別コース 昼 （3年制コース・2年制コース）	小学校教員志望者を対象とし、実践的な指導力と自己の実践を省察・改善できる能力を身に付け、即戦力となる教員を養成します。	小学校教員の志望者
グローバル化推進 教育リーダーコース 昼 夜	学校のグローバル化推進教育のために、多様な文化や社会を理解し、グローバル社会における生きる力を育てることのできる教員を養成します。	グローバル教育に関心のある教育関係者および教員志望者
教育政策リーダーコース FP	未来を創る子どもたちの教育に加え、新たな地域社会の創出を担う教育行政に携わる教育長等を養成します。	教育長、教育行政の幹部（候補者含む）
学校教育コース 夜	今学校現場で起こっている課題を協働的に解決するプロセスを通して、これまでの教員経験を視座にした省察をサポートしながら教育実践研究の力を高めます。	教職経験5年以上の、自己の実践研究力を高めたい人

● … 加東キャンパス ● … 神戸ハーバーランドキャンパス F … オンラインを活用して、全国どこからでも勤務しながら学ぶことができる「フレックスクラス」（一部の授業等は土日に対面あるいは同期型オンライン授業で実施） FP … 学生の要望等を踏まえた時期・場所で授業を受けることができる「フレックス&プレイスカリキュラム制度」

外国人留学生向けに 国際貢献型カリキュラムを開設

日本語や日本の文化、学校教育を理解することにより、主に母国における教育の向上に貢献することを目指す外国人留学生を募集します。

- ▶ 日本型教育の特徴を学べます！（比較教育学など）
- Point ▶ 学校体験・基盤実習の授業科目で実際の教育現場に接することで、母国の教育現場との違いを体感できます。

※母国での教職経験がある人は実習の一部を免除できます

対象コース ※昼間クラスのみ対象

教育方法・生徒指導マネジメントコース／言語系教科マネジメントコース／社会系教科マネジメントコース／理数系教科マネジメントコース／グローバル化推進教育リーダーコース

学びのプロセス

課題研究(教育実践研究報告書作成)の流れ

1年次	5月～6月	指導教員(ゼミ)を決定
	6月	実践研究テーマを設定(自身が所属するコースで行う実習での検証等を考慮して設定)
	8月～9月	実践研究計画発表会(研究テーマと研究方法のアウトラインの確定)
2年次	2月	中間発表会I
	8月～9月	中間発表会II
	2月	実践研究発表会(実践研究の成果発表)



言語系教科
マネジメントコース
令和4年3月修了
／中学校教諭

中野絵理香さん

中学校の英語音声指導 —歌活動の実践を通して—

コロナ禍で、入学式もないまま大学院生活が始まりました。オンライン授業の体制が整うまでの約1カ月間は、研究課題を再度まとめました。その後オンラインで、希望する研究内容を発表し、指導教員が決定されました。指導教員だけでなく、コースの先生方はそれぞれの分野における専

門性を持って、私たち学生をさまざまな角度からサポートしてくださり、研究テーマも日に日に広がりを見せ、興味深く専念できました。ゼミでは、言語学専門の教授の下、英語の調音方法やリズム指導の専門的な知識だけでなく、ストーリーテリングや英語の歌を用いたさまざまな視点から考える、質の高い「本物の学び」について教えていただきました。実践実習では、その研究内容を現任校での課題とすり合わせ、「英語の歌」を通じた発音指導や英語の苦手な生徒の情緒面の向上を目指す実践を行いました。指導教員の手厚いサポートの下、無事終えることができました。振り返りやデータ分析を行い、12月には学会発表を行いました。卒業を前に、2年間の総まとめとして実践報告書の作成に取り掛かります。このコースでの学びは学術的な研究に根差し、現場の子どもたちの支援に焦点を当て、まさに理論と実践の融合です。子どもたちの学びを支援・伸張する指導のあり方にじっくりと向かい合うことができ、感謝しています。

中野さんの2年間の学び



修了に必要な単位

	学校経営コース	小学校教員養成特別コース		教育政策 リーダーコース	学校教育コース	左記以外のコース
		3年制コース	2年制コース ()は小学校2種免許状所有者			
共通基礎科目・ 専門科目	34単位以上	26単位以上	24単位以上	36単位以上	36単位以上 ※5	28単位以上
実習科目	10単位 ※2	12単位	14単位	10単位 ※2	10単位 ※2	10単位 ※2
学部教職課程	—	73単位 ※3	(22単位)	—	—	—
合計単位数	44単位	38単位+73単位	38単位 (38単位+22単位)	46単位	46単位	38単位
最低修得単位数 ※1	46単位	46単位+73単位 ※4	46単位 (46単位+22単位)			46単位

※1…合計単位数38単位(学校経営コースは44単位)と最低修得単位数46単位との差8単位(学校経営コースは2単位)は、共通基礎科目、専門科目(自身が所属するコース以外で開設する専門科目を含む)および実習科目のうちから修得するものとします(教育政策リーダーコースおよび学校教育コースは除きます)

※2…実務経験等に応じ、実習科目の全部または一部が免除される場合があります

※3…幼・中・高1種免許状所有者は55単位

※4…幼・中・高1種免許状所有者は46単位+55単位

※5…修士課程各専攻・コースで開講する授業科目を修得した場合は、10単位まで修了に必要な単位数に含めることができます

学生の時間割を公開！



学校臨床科学コース2年※
中川真美花さん

子どもの「学びたい」を引き出す教員を目指して

学校臨床科学コースには授業実践と生徒指導の分野があり、関心を持った授業を選択して学ぶことができます。私は、対話型授業に特に関心があったため、授業実践を軸に時間割を組みました。また、授業は学級で行われることから学級経営の授業や学習指導と並んで重要な生徒指導に関する授業も併せて履修したことで、今後教員になる上で必要な視点を学べたと感じています。また、1年次の基盤実習では、子どもの「学びたい」という気持ちを引き出すためにどのような対話型授業が行われているのかを、学習科学に基づく協調学習の視点から観察して学んでいます。さらに、実習での経験をゼミの先生や他のゼミ生と共にリフレクションすることで新たな気付きを得ています。

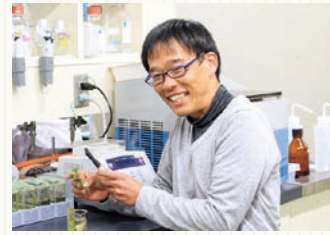
※令和4年度から、コース名が教育方法・生徒指導マネジメントコースに変更となります

1年次の授業スケジュール(令和3年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際	学校臨床科学における実践研究	包括的児童生徒支援に関する事例研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
	2	教員のための学校組織マネジメントの実践演習	学習指導と授業デザイン	言語の仕組みと言語教育	
	3			授業におけるICT活用	総合学習の理論構築と実践力形成
	4			教師発達とメンタリング	
	5				
後期	1	学校における特別支援教育への対応と方法	学校臨床科学における実践研究		教育相談の理論と技能開発
	2			学校におけるデータの取り方と分析※1	
	3		生徒指導とキャリア教育	社会心理学に基づく学級経営の実践開発※2	
	4			授業研究の理論と実践	
	5				

※1…後半は「学校臨床科学における質的研究」

※2…後半は「円滑な学級経営のための力量形成」



理数系教科マネジメントコース
令和4年3月修了
／小学校教諭
松本直也さん

充実した大学院生活

時間割を組む際は、理論と実践の両方を学び、研鑽したいと思っていたので、授業内容について、シラバスを見たり、担当の先生や先輩に話を聞いたりしてから履修を判断しました。また、研究がフィールドワークを伴うものだったため、まとまった時間が確保できるようにスケジュールを考えました。実習については、1年次の基盤実習は書類審査を経て、免除となりました。2年次の向上実習では、研究内容を中心に据え、実験方法を担当の先生と検討したり、同じゼミ生からアドバイスをもらったりと、事前に熟考しながら準備ができ、充実した実習期間になりました。

1年次の授業スケジュール(令和2年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	教員のための 学校組織 マネジメント の実践演習	授業の指導 計画と教材 研究の演習	理科授業の 理論と実践 (生命)	包括的児童 生徒支援に 関する事例 研究	教員の 社会的役割 と自己啓発
	2				学校における 道徳教育の 実践研究	児童生徒を 活かす 学級経営の 実践演習
	3		教育課程の 制度的特質 と課題		授業に おけるICT 活用	
	4					理数系教科 教育実践 研究
	5					
後期	1	教員のための 人権教育の 理論と方法	学校における 特別支援教育 への対応と 方法			
	2	特色ある カリキュラム づくりの理論 と実際	授業における 評価の基準 作成理論と 学力評価			理数系教科 教育実践 研究
	3				理科教材 開発実習A	理科 実験開発 実践演習I
	4	理科教材 開発実習B			理科実験 実地演習	理科 実験開発 実践演習II
	5					



小学校教員養成特別コース
令和4年3月修了

玉尾政樹さん

豊富な実習経験による実践的な学び

小学校教員養成特別コースでは、2年次に約4カ月間、3年次に計60時間の長期的な実習があり(3年生コースの場合)、実際の教育現場で学びを深められることが特徴であると思います。3年次には、現職の先生方と共に講義を受けられるため、コースの垣根を越えて、多様な視点での学びにもつながりました。1年次は「小学校教諭1種免許状」を取得するための科目を取り、2年次から本格的に大学院の科目や実習が始まります。私はこのコースで過ごす中で、理想の教員像の明確化や教育現場に新たな問いを見つけることができました。また、そのことが教員採用試験や3年次の教育実践研究に直接的に結び付き、この3年間を大変有意義な時間にすることができました。

1年次の授業スケジュール(令和元年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	初等体育	人権教育		
	2		初等英語	初等音楽科教育法	初等体育科教育法
	3			初等社会	
	4				初等理科
	5		初等社会科教育法		
後期	1	生徒指導論	初等国語/初等算数	初等英語科教育法	初等家庭科教育法
	2	初等国語科教育法	教育実地基礎		総合的な学習
	3	初等生活科教育法	道徳教育論	初等図工/初等音楽	特別支援教育
	4	教育相談論			初等生活/初等家庭
	5		特別活動論		



グローバル化推進
教育リーダーコース2年
／中学校英語科教諭

藤田睦美さん

A Whole New World

グローバル化推進教育リーダーコースでは、「世界の教育」や「外国語による表現法」など、グローバルに視点を置いた科目が充実しています。オランダ、フィリピン、アメリカなどの国々をオンラインでつなぎ、現地にいる教育関係者の方々から、その国の教育や社会情勢についてお話をうかがったり、地球温暖化や多様性などの「グローバルイシュー」について学んだりする時間が多くありました。さらに、パワーポイントを用いて、英語でプレゼンテーションを行う機会が何度もあり、自分の考えや思いを表現できる力が付いたと実感できるようになりました。これらの授業を通して、自身の研究に関するたくさんの「ヒント」を得ることができました。

1年次の授業スケジュール(令和3年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	教員のための学校組織マネジメントの実践演習		ゼミ	学校における道徳教育の実践研究
	2	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際	英語を活用した論理的思考		包括的児童生徒支援に関する事例研究
	3		実用外国語演習	外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	授業におけるICT活用
	4				
	5		世界の教育		
後期	1	教員のための人権教育の理論と方法	学校における特別支援教育への対応と方法	ゼミ	
	2		授業における評価の基準作成理論と学力評価法		英語科授業の実践研究
	3		国際理解教育		社会心理学に基づく学級経営の実践開発/円滑な学級経営のための力量形成
	4			外国語による表現法	
	5				

学校経営コース

学校づくりをリードする高度な実践力の修得を目指す

学 校経営コースでは、社会の期待や要求に応えながら、自律的な学校づくりをリードする校長や副校長・教頭などの学校経営専門職、学校を支援する指導主事などの教育行政専門職を養成します。

入学募集の対象としては、国立・公立・私立にかかわらず、全ての校種から応募が可能です。現に校長、副校長・教頭等の学校管理職にある者のみならず、その候補者・希望者たる教諭、主幹教諭等に加えて、教育委員会の指導主事等や学校事務職員を含めて、幅広い職層を歓迎します。

本コースでは、今後の学校づくりに必要とされる課題解決力や組織経営力を高めるカリキュラムを用意し、対面とオンラインの併用（ハイブリッド方式）による講義等を実施します。

昼間クラスでは、対面授業が中心となり、通常の講義等に加えて、インターンシップやフィールドワーク等を通じた多様で深い学びの機会を提供します。

フレックスクラスでは、オンライン授業を中心に、柔軟な学びのスタイルに対応する仕組みを導入することで、全国どこにいても勤務しながら学ぶことができます。

専門科目の授業の一部は、神戸キャンパス等において、昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施しますが、その際は対面かオンラインの選択が可能です。

大学院修了後は、学校管理職や教育委員会の幹部として

活躍するパターンが大多数である一方で、近年は博士課程に進学する例も増加しています。いずれのキャリアパスを歩むにせよ、在学中のさまざまな出会いと交流に加え、全国各地に広がる同窓会の活動を通じた修了生ネットワークも大きな財産となります。

昼間クラス 2年	フレックスクラス 2年または3年
共通基礎科目 オンライン授業	共通基礎科目 オンライン授業
専門科目 対面授業中心	専門科目 オンライン授業中心
専門科目 授業の2割程度を昼間クラスとフレックスクラスの 合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
課題研究 昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
インターンシップ（実習） 学校または教育委員会	インターンシップ（実習） 申請により免除

*昼間クラスには、フィールドワーク等の多様な学びの機会を提供

Voice

新たな発見の連続

学校経営コース2年

国本龍一さん



さまざまな自治体から派遣された同級生と共に日々学びを進めています。講義で得る新しい知識や考え方、学校視察で触れる先進的な実践、同級生や他コースの皆さんとの意見交流で得られるさまざまな視点等、どれも私にとっては新鮮で、新たな発見の連続です。大学院で学ぶ理論と、これまでの教職経験で培った実践が、少しずつですが結び付いてきていることを実感しています。大学院派遣という貴重な学びの機会を与えていただいた自治体や現任校への恩返しとして、大学院入学前よりも成長した自分になれるよう、さまざまなことにチャレンジし、努力を継続していきます。

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当専門科目	メッセージ
	教授 山崎清実	教師教育、 教育経営	学校経営・教育行政実践課題研究、学校経営・教育行政専門職インターンシップ	教員の職能開発を促進する現職研修と学校危機管理の在り方を中心とした研究を進めています。
	教授 川上泰彦	教育政策、 教育行政学、 教育経営学	学校・教育委員会の経営と財務、学校・教育委員会のEBPMと評価	国・地方レベルにおける教育行政システムの変化が学校の諸活動や経営に与える影響に関心があります。
	准教授 安藤福光	カリキュラム・マネジメント、 小中一貫教育、 中高一貫教育	カリキュラム・マネジメントと学校のオープンイノベーション	カリキュラム研究、特に小中一貫カリキュラムや中高一貫カリキュラムの研究、高等学校のカリキュラム・マネジメントの研究に取り組んでいます。
	准教授 神内 聡	教育法、 教育制度、 社会科教育	教育法規の理論と実践演習、 学校危機管理の理論と実践演習	教員と弁護士双方の視点から、教育法、教育制度、社会科教育などを研究しています。
	准教授 三浦智子	教育経営学、 教育財政学	学校・地域協働の理論とデザイン	学校経営や自治体・国の教育政策が地域の多様なニーズにตอบสนองするプロセスや仕組みを研究しています。
	特任教授 浅野良一	人材育成・職能開発、 学校組織マネジメント	学校マネジメントによる組織活性化、教職員の人材育成システムの構築と運用	学校組織の活性化プロセスとその実現に向けたリーダーシップを研究しています。
	客員教授 岸田隆博			
	客員教授 中井啓之			
	客員教授 長井勲治			

改善プラン(教育実践研究報告書)のテーマ例

学 校

- 【小 学 校】▶ 少人数指導加配教員の機能性に影響を与える要素―学力向上推進リーダーへの質問紙調査から―
▶ 小中合同の学校運営協議会で創る学校-コミュニティ・スクールの仕組みの活用―
- 【中 学 校】▶ 一貫教育を推進するスクールミッションの再構築と学校組織再編―義務教育学校の開校プランの提示―
▶ プロセスマネジメントをベースとした開発的改善―生徒・教員の主体性を伸ばす組織改善―
▶ 中高一貫教育における中学校から高等学校への接続に関する考察―社会に開かれた教育課程の実現をめざして―
- 【高 等 学 校】▶ 機能する学校組織の在り方についての考察―主幹教諭・ミドルリーダーの役割を中心に―
▶ 「学習する組織」としての高等学校の授業改善―コミュニティ・スクールの仕組みを活用して―
▶ 探究的な学習によるグローバル・リーダーの育成 ―カリキュラム・デザインと組織力向上によるアプローチ―
▶ 予測困難な未来を切り拓くビジネス教育の革新―地域産業をリードする人材の育成―
- 【特別支援学校】▶ 児童生徒の自立と社会参加を目指す学校づくり―カリキュラム・マネジメントによるデザイン―
▶ 地域とともに共生社会を実現する学校―児童生徒が卒業後に自分らしく生きるために―
▶ 障害のある子ども達の自立と社会参加をめざす学校づくり―地域資源を活用した教育活動の展開―

教 育 委 員 会

- ▶ 教育資源を最大限に活用した教育行政の在り方―新しい時代の学びを支える「A市版スクール・コミュニティ」の可能性を探る―
- ▶ 「地域とともにある学校づくり」の推進に向けた教育施策の立案―B県型地域連携教育の取組の充実を通して―
- ▶ 小・中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会事務局の支援策―若手教員の育成を中心にして―
- ▶ 教育委員会の学校コンサルティング機能の強化と学校支援の仕組みの構築―C 市学校教育活性化のための評価連動モデル―
- ▶ 施設隣接・分離型小中一貫教育の推進における教育行政の支援―持続可能な支援体制の構築を目指して―

教育方法・生徒指導マネジメントコース

カリキュラムの3本の柱で学ぶ「学校現場のマネジメント力」

教育方法と生徒指導の分野において、「教師個人の力量」と「学校全体の力量」を高めるための学びを提供します。

カリキュラムの3本柱

1.一人一人に最適化された学び

「教師個人マネジメント力」を養う演習、「校内組織マネジメント力」を高める演習を個別に開設しています。現職院生、ストレート院生のいずれもが、各自の大学院進学目的に応じた力量形成が可能です。

2.研究力、実践力を高める学び

データ分析などの研究法に関する授業で、教育活動の効果性を科学的に検証する力を獲得できます。また実習科目では、研究力に支えられたマネジメント力を現場で実践し、さらに向上させることができます。

3.問題解決を支える専門性を身に付ける学び

多彩な専門科目から自らの目的や問題意識に応じて選択できます。また、心理学、教育方法学、教師教育学などのアカデミックな学問とリンクさせて学修できます。

本コースで学べる内容

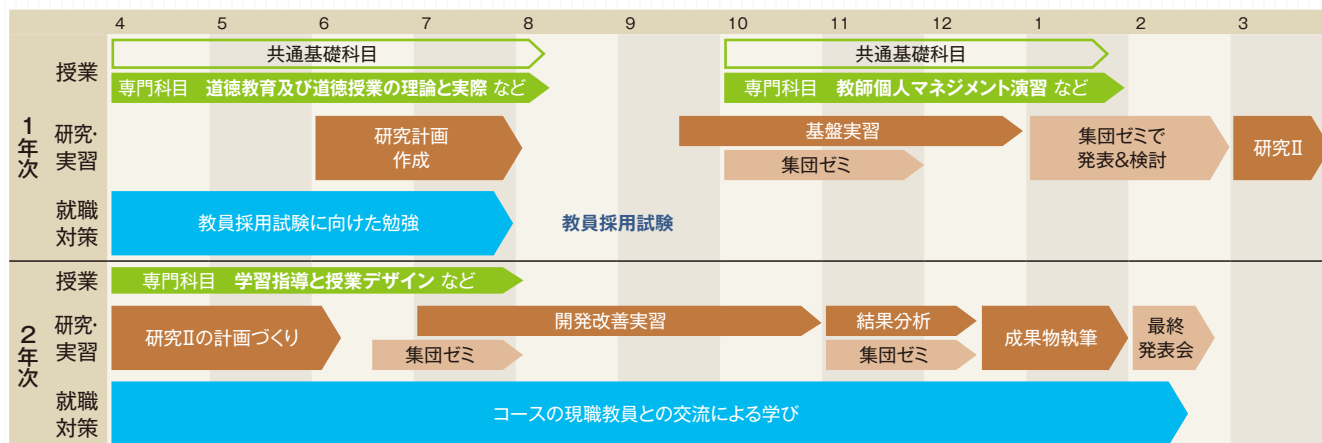
- ▶ 授業研究
- ▶ 教育評価
- ▶ 教授学習過程
- ▶ カリキュラム・マネジメント
- ▶ 総合的な学習（探究）の時間
- ▶ 生活科
- ▶ 特別活動
- ▶ 道徳教育
- ▶ 学級経営
- ▶ 教師教育
- ▶ キャリア教育
- ▶ インクルーシブ教育
- ▶ 教育相談
- ▶ カウンセリング等

2年間の学びの例

キャリア教育についての教員研修を学びたい現職院生



道徳の授業力を高めたいストレート院生



※上記はカリキュラムの一部を模式的に表したものです

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 溝邊和成	教育方法学、 授業論、 カリキュラム論	総合学習の理論構築と実践力 育成、実践的な指導方法に関 する理論と実際	教科横断的な授業における教材・指導・カリキュラムに 関わって研究を進めています。
 教授 松本 剛	教育相談、 臨床心理学、 人間性心理学	教育相談の理論と技能開発、 包括的児童生徒支援のための 事例研究	教育相談・学校における心理支援に関わっています。 ファシリテーターとしての教員の役割に関心があり ます。
 教授 谷田増幸	道德教育、 公民科教育	学校における道德教育の実践 研究、道德教育及び道德授業 の理論と実際	道德科や公民科「倫理」を中心に、人間としての在り 方や生き方に関する教育について取り組んでいます。
 教授 竹西亜古	社会心理学、 リスク心理学、 心理学調査法	社会心理学に基づく学級経営 の実践開発、学校における データの取り方と分析	データに基づく科学的な教育実践や研究を目指しま せんか。どのような教育分野にも応用できますよ。
 教授 山中一英	教育心理学、 社会心理学、 教師教育学	円滑な学級経営のための力量 形成、学校臨床科学における 質的研究	「他者とかかわる」と「学ぶ」こと。私たちを支える この2つの営みの繋がりをめぐって研究しています。
 准教授 安原一樹	社会教育学、 地域教育経営論	特別活動・地域教育活動プロ グラムの開発、教員のための 人権教育の理論と方法	生涯学習社会における子どもから高齢者に至る学習 環境の有りようとその社会的意義を探究しています。
 准教授 伊藤博之	教育方法学、 教育課程論、 教育方法論史	学校カリキュラムのデザイン と評価、 授業研究の理論と実践	自律的・協働的な学びとはどのようなものであり、それ をどのように組織し運営するか、共に追究しましょう。
 准教授 淀澤勝治	道德教育学、 幼児教育学	学校における道德教育の実践 研究、道德教育及び道德授業 の理論と実際	小学校での教職経験を生かし、道德教育および道德 科の授業の在り方を実践的に研究しています。
 准教授 隈元みちる	臨床心理学、 教育相談、 発達相談	包括的児童生徒支援に関する 事例研究、 教育相談の理論と技能開発	臨床心理学の立場から、それぞれが生きやすい在り方 や環境を探っていきたいと考えています。
 准教授 宮田佳緒里	教育心理学、 学習心理学	学習指導と授業デザイン、 教師発達とメンタリング	児童生徒が概念を理解し、思考できるまでの認知過程 について、教育心理学の立場から研究しています。
 准教授 森本哲介	教育心理学、 臨床心理学、 ポジティブ心理学	生徒指導とキャリア教育、 学校における道德教育の実践 研究	個人の強みをどのように自己形成、キャリア形成に生 かすかということを研究しています。

Voice

実習を柔軟に 設計できた



学校臨床科学コース※

令和4年3月修了

葛原祥太さん

実習を柔軟に設計できたことが良かった
です。基盤実習では担任の先生と一緒に授
業をつくり、開発改善実習では深化した問
題意識から、月1回の職員研修を企画実行
しました。このように期間や方法を柔軟に
変化させ、実習を計画できたことで、充実
した学びを得ることができました。また、現
場に戻ってからつなげていたと思える
仲間に出会えたことも良かったです。

新たな発見 「学ぶ楽しさ」



学校臨床科学コース※

令和4年3月修了

中川陽介さん

大学院の授業や研究を通して、最新の知
見に触れ、今まで学校現場で行ってきた
「授業実践」「生徒指導」を見つめ直す良
い機会となりました。ここでの生活は新た
な発見の連続であり、新たな知見が広がる
ことに「学ぶ楽しさ」を感じています。

大学院で身に付けた力は、子どもたちの
学びをより良いものに変えていく確かな力
になっていると実感しています。

※令和4年度から、コース名が教育方法・生徒指導マネジメントコースに変更となります

言語系教科マネジメントコース

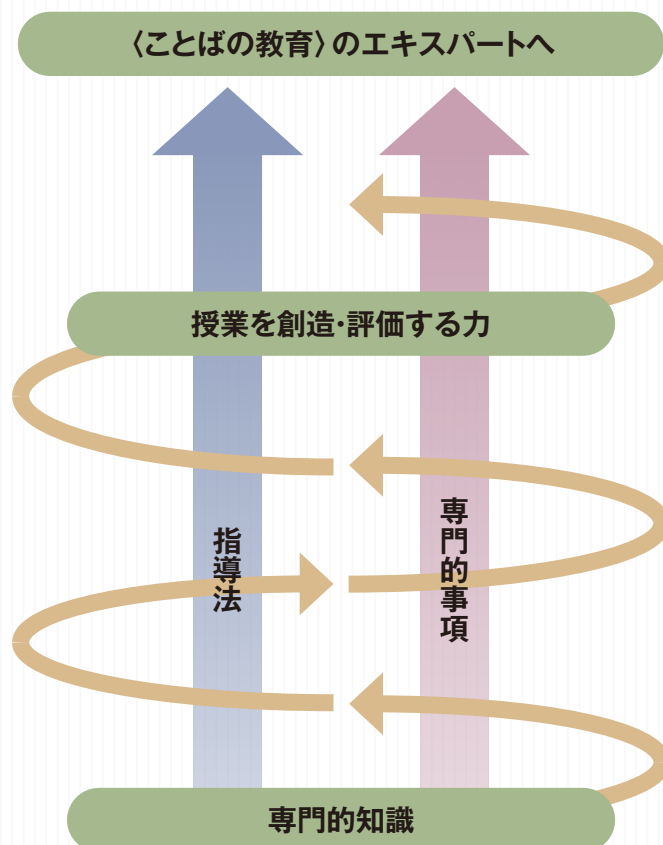
国語教育・英語教育のエキスパートを育てる

専 門的知識に裏付けられた授業を創造・評価する力を
持ち、小学校・中学校・高等学校における言語教育の
実践に関わる高度な専門的力量を身に付けた教員の育成を
目指します。そのことを達成するため、〈ことばの教育〉に関
わる諸問題について、指導法（カリキュラム・シラバス、生徒
の資質・能力を高める指導、授業づくり、学習評価、言語習得
など）および専門的事項（言語表現、文学表現、言語構造、言
語文化、言語教育、コミュニケーション、異文化理解など）を
幅広く探究できるカリキュラムを編成しています。

実習では、現職教員については、学校教育の抱える諸問題
の調査・分析を行い、研究課題を絞り込むとともに、課題解決
のための目標を設定します。

ストレート学生については、教科指導を中心とした学校教
育全般にわたる実習を通して、大学院実習で必要な基本的な
知識・技能等を習得し、教員としての素養を養います。

自らの教科教育の理論を構築し、研究内容と関連付けた実
習を通してその有効性を検証することにより、教員としての
総合的な力量を高めます。



兵庫教育大学言語表現学会での研究発表風景

言語表現学会は、コース内に事務局を置く、開かれた学術組織です。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 古典和歌の学習指導に関する内容論的探究—古代から中世にかけて空間としての「空」はどう詠まれたか—
- ▶ 小学校英語における発話の音声指導を考える—一寸劇活動を通して—
- ▶ 小学校高学年の読み書き指導におけるジョリーフォニックスを取り入れた実践の検討
- ▶ 中学生を対象とした ICT 機器を活用したスピーキング活動による英語スピーキング不安の変化と思春期不安との関係
- ▶ 中学校の英語音声指導 —歌活動の実践を通して—

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
国語	 教授 菅井三実	理論言語学、 日本語学、 言語教育	言語の仕組みと言語教育、 言語系教科教育実践研究	日本語がどのような言語で、人はそれをどのように習得し運用するかについて知見を提供したいと思います。
	 教授 羽田 潤	国語科教育、 メディア・リテラシー、 サブ・カルチャー	国語科授業実践研究、 授業におけるICT活用	多様なメディアを活用した国語科授業の開発を目的に、映画、マンガ、写真、広告の分析に取り組んでいます。
	 准教授 竹口智之	日本語教育学	外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	日本人とは異なった方法で日本語を学んでいこうとする生徒・学生がいます。その過程を学んでいきましょう。
	 講師 児島啓祐	古典文学、 古典教育、 中世文学	国語科授業と文学表現、 言語系教科教育実践研究	日本の古典教育が活発化するのの中世からです。中世に分け入り、古典教育の意義や可能性を考えています。
	 教授 吉川芳則	国語科教育、 説明的文章、 論理的思考力	国語科授業実践研究、 言語系教科教育実践研究	ことばによってよく思い、表現することで豊かに生きる。このことにつながる授業づくりを追究しましょう。
英語	 教授 中村浩一郎	英語学、 理論言語学、 比較統語論	英語科授業と言語表現2、 言語系教科教育実践研究	英語学／理論言語学研究で蓄積された英語に関する知見を共有し、英語教育の現場で役立つ知識を習得することを目指します。
	 教授 吉田達弘	英語教育学、 社会文化理論に基づく英語授業研究・英語教師教育研究	小学校英語科授業の研究、 教育課程の制度的特質と課題 初等英語教材研究・授業づくり	理論のレンズを通して小中高の英語授業を分析し、授業におけるコミュニケーションについて考えていきます。
	 准教授 近藤暁子	外国語教育、 英語教育学、 応用言語学(第二言語習得)	英語科授業の実践研究、 初等英語教材研究・授業づくり	外国語学習における個人差要因と、映像メディアを使用した外国語の指導についての研究に取り組んでいます。
	 准教授 多田ウェンディ	第二言語習得、 英語教育、 英語教師教育	英語科授業と言語表現1(文学作品における英語表現と多様な文化)、 言語系教科教育実践研究	将来、学校教育の場で必要になる英語のスキルと知識を英語で身に付けることを目的とした授業です。
	 講師 鳴海智之	英語教育学、 心理言語学、 第二言語習得	第二言語習得と外国語学習、 初等英語教材研究・授業づくり	心理言語学的アプローチにより、学習者の英文理解時の処理プロセスと、その自動化の過程を研究しています。

Voice

これからも、 ことばとともに



言語系教科マネジメントコース(国語)
令和4年3月修了
田中育代さん

私にとっての大学院生活は、ことばとじっくり向き合い、学びのあり方について考えを深めた貴重な時間です。自らの教職経験が、専門的な授業を通して得られた知見と結びつくことで相対化され、教育において何を大切にしたいか、自らの核となる部分を再認識できたと感じています。さまざまな出会いに感謝し、これからもことばの可能性を信じて学び続けたいと思います。

物事を多角的に 学べる場所



言語系教科マネジメントコース(英語)
令和4年3月修了
横瀬英さん

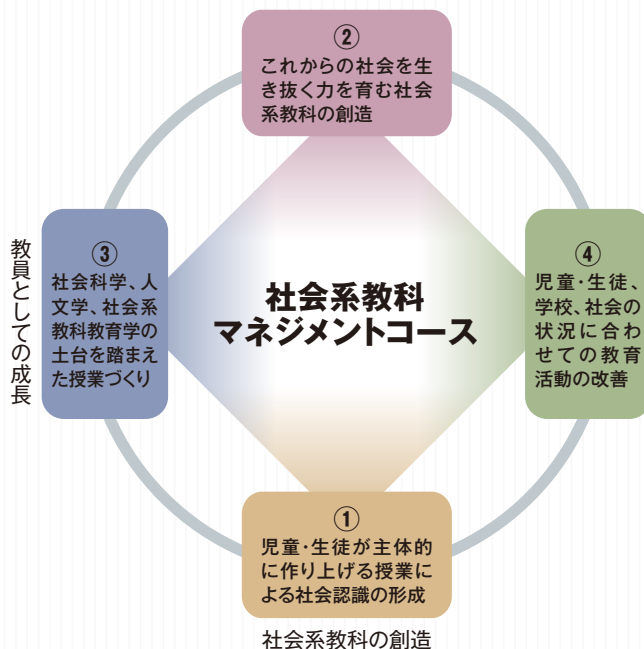
英語教育の現場は今、学習指導要領の改訂や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、激動の最中にあります。子どもたちが「明日に希望をつなぐことができる環境」を築くために、英語教育を通じて何ができるのか、また、現場が抱えている複雑な問題を、大学院の先生方、現職の先生方、そしてストレート学生と共に、「多角的な視点」からひもといっていくことのできるコースです。

社会系教科マネジメントコース

これからの社会を「生き抜く力」を育成する教育の創造

社 会系教科には多様化・流動化している現代社会を「生き抜く力」を育成することが求められています。この目標を実現するために、まず①児童・生徒が主体的に授業を作り上げていく中で社会認識を育むという社会系教科の特徴を生かしながらも、②そのつどの状況に応じて主体的に社会参画できる力を育成するため、新しい社会系教科を創造していかねばなりません。これと並んで、③教員自身が社会科学、人文学、社会系教科教育学の土台を踏まえた授業づくりに習熟するだけでなく、④児童・生徒、学校、地域の状況に合わせて教育活動を改善することができる能力を身に付けなければなりません。社会系教科マネジメントコースは、このように他者と協調しながら自己成長を行うことのできる教員の養成を行うことを目標とします。

本コースには、同窓会組織である嬉野会があります。兵庫教育大学創立以来、40年以上にわたる卒業生の団体です。そこには、現役の校長や教頭などの管理職や、兵庫県教育委員会の指導主事の他、社会科教育の中核となって活躍されている現役の教員が多くいます。年1回の総会の他に、教員採用試験前には、かつて面接の試験官をされた嬉野会の人を招いてセミナーを開いたり、授業実践の研究会を開いたりしています。皆さんも、この仲間に加わって、大いに交流してください。



嬉野会研究会

主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 未来洞察型教育理論に基づく高等学校「歴史総合」の授業実践—「グローバル化」における域内経済システムに着目して—
- ▶ デザイン思考を組み込んだPBL的単元構成により社会形成力を育成する授業実践—中学校地理的分野「地域の在り方：泉北ニュータウン 少子高齢化問題」—
- ▶ 社会環境の変化が学校教育に及ぼす影響と適応についての考察
- ▶ 尼崎市における地域学習のあり方の研究—地域学習の授業実態と教師の意識調査を通して—
- ▶ 概念レンズを活用した小学校社会科カリキュラムの開発と実践に関する研究—経済の視点に着目して—

担当教員

(変更する場合があります)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
	教授 原田 誠司	史学、史学一般、 近世村落成立史論	授業の指導計画と教材研究の 演習、社会系教科の授業デザ インの理論と方法(2)	近世前期の社会・経済史を専門とし、西国を対象地域 として、近世村落の成立に関する諸問題を扱ってい ます。
	教授 森田 猛	史学、 ヨーロッパ史・アメリカ史、 西洋史	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、 現代社会の課題とその教材化	近代ヨーロッパ史を専門にしています。特に19世紀の ドイツ史学史、スイス文化史に関心をもっています。
	教授 森 秀樹	哲学、 市民性教育、 創発性	現代社会の課題とその教材化、 社会系教科の授業研究	「対話」と「協働」を手がかりとして、複雑化する現代 社会に対応できる教育を考えていこうと思います。
	教授 山内敏男	教育学、 教科教育学、 社会科教育学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、社会系教科 におけるカリキュラムの変遷 とマネジメントの実際	規範を教授するのが教育か…を問いとして歴史教育、 教員研修を中心に研究しています。
	教授 福田喜彦	社会系教科教育、 東アジア、 市民性教育	社会系教科におけるカリキュ ラムの変遷とマネジメントの 実際、社会系教科の授業デザ インの理論と方法(3)	グローバル化に生きる子どもたちが「市民性」を身に つけるための社会系の授業をともに考えていきま しょう。
	准教授 渡邊 正	経済学、国際経済学、 アジア経済、 海外直接投資	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	国際経済学を専門としています。海外直接投資や工程 間分業に着目し、アジアの経済発展メカニズムを研究 しています。
	教授 関 浩和	社会認識教育学(社会科・ 生活科)、教育課程論	特色あるカリキュラムの理論 と実際、教科・領域の内容・指 導法研究Ⅲ(社会科)	研究(Research)と実践(Practice)を往還しなが ら、教育実践研究に取り組みましょう。
	特任教授 今出和利	法学、公法学、 未成年者保護法、 憲法	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	「子ども」「教育」「学校」などに関わる法律を中心 に、比較法的・歴史的視点を踏まえつつ研究してい ます。

Voice

大学時代からの ステップアップ

社会系教科マネジメントコース2年

大谷美月さん(左)

柴折采希さん



進学して良かったことは、現職の先生と同じ空間で学べることです。授業での学びはもちろんですが、現職の方々の経験や思いをこんなにも近くで学び、感じることができる場所はここしかないと思います。分からない悔しさや理解できた喜びを糧にしながら、教員としてだけでなく人としても成長できる学校です。理論と実践の橋渡しを担う責任と自覚を持ち子どもたちのために学び続けていきたいです。(大谷)

私は「文化」に興味があり、大学時代は、フィールドワークを通して人々の暮らしと文化の伝承について学んできました。所属しているゼミでは、興味の価値観が合う、他コースの現職の方との出会いがあり、日々学びの幅が広がっています。これらの学びを生かして、子どもたちが地域の人や文化と出会う社会科の授業をデザインしていきたいです。(柴折)

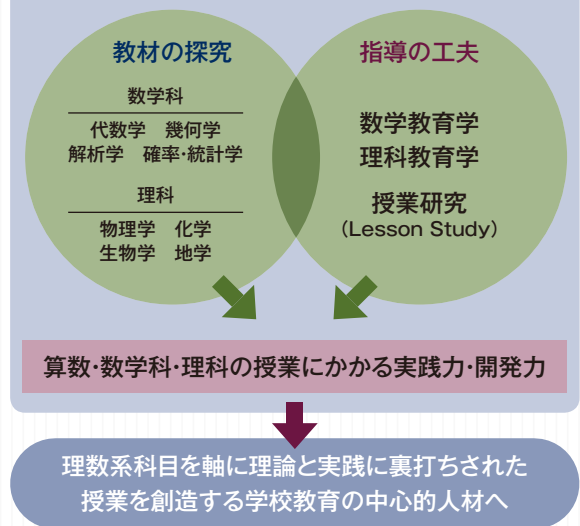
理数系教科マネジメントコース

数学・理科教育を担う人材の輩出を

数学が好き・理科が好きなお子さんを育てるには、先生自身が数学科好き・理科好きであってほしい」という考えの下に、理数系教科マネジメントコースでは、数学と理科の魅力や楽しさを堪能できる教育研究を行っています。身近な現象から定理や法則の支配する興味深い世界へ広がっていく様子を子どもに教え、小・中・高校でも数学・理科の教育を担える人材を送り出したいと考えています。

数学・理科といった理数系科目は特にその系統性が重要であり、その系統性に対する深い理解と、教育課程の趣旨を捉えた授業を創造する力に加えて、数学教育・理科教育の観点から授業を解釈・評価・考察していく力がカリキュラムマネジメントに必要となります。そのため、本コースでは、理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発に焦点を当てたカリキュラム編成となっており、それにより数学・理科教育を担う人材を育てることを目的とします。

理数系教科マネジメントコースの人材育成



主な教育実践研究報告書のテーマ

〔数学〕

- ▶ 算数を自ら発見・創造する子どもの育成をめざした授業づくりに関する研究
- ▶ 中学校数学科におけるオープンアプローチによる指導に関する研究
- ▶ 高等学校数学科におけるアクティブ・ラーニングの実現に関する研究
- ▶ 高等学校数学科における数学的モデル化を取り入れた授業づくりに関する研究

〔理科〕

- ▶ 高科学概念を形成するための各自の視点で行う実験教材の開発と実践
- ▶ 明石市立高丘中学校における理科の授業実践と教師としての生徒との関わりに関する研究
- ▶ 高等学校「生物」における遺伝子組換え実験に関する教材開発と実践

Voice

学ぶことの素晴らしさを再認識する日々



理数系教科マネジメントコース
(数学)2年
久保田健祐さん

「算数は楽しくない!」「人生の役に立たない!」と思っている子どもたちが、考えることの楽しさや学ぶことの良さを味わえるような授業を創造し、研究を行っています。このコースでは、専門性の高い数学の理論と実践について学ぶことができます。優しく親身になってくださる先生方に支えられ、院生の仲間と共に充実した学びの日々を過ごすことができている。

毎日が新たな発見!



理数系教科マネジメントコース
(理科)2年
伊藤 紘祐さん

普段何気なく過ごしている生活の中には、理科に関する不思議や面白さがあふれています。このコースでは、物理、化学、生物、地学の各領域での専門的な学びを通して、そんな身の回りにあるさまざまな自然の事物・現象とじっくり関わり、向き合うことができます。毎日が新たな発見!そして感動!日々、感性を磨きながら充実したキャンパスライフを送っています。

担当教員

(変更する場合があります)

数学

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 國岡高宏	教育学、 教科教育学	算数・数学教育の理論と実践、 数学的リテラシーと算数・数学 的活動	算数・数学教育学の理論に裏打ちされた確かな実践力を養ってほしいと思います。
 教授 濱中裕明	数学、 幾何学、 数学教育学	数学的リテラシーと算数・数学 的活動、 「図形」領域の探究的学習教材	生徒が自ら学ぶことを可能とするような魅力的な数学教材開発を念頭に、数学を探究できたらと思います。
 准教授 川内充延	数学教育学	算数・数学科の授業づくりと 評価	自分自身の指導経験や学習経験を丁寧に振り返り、先行研究の知見を踏まえた実践力を培いましょう。
 准教授 小川聖雄	微分方程式、 流体力学	数学教材の背景と応用	純粋数学または応用数学的な研究を行います。教育現場での実践に生かしてほしいと考えています。
 准教授 吉川昌慶	代数学、 代数的組合せ論	「数と式」領域の探究的学習 教材	代数的組合せ論を主に研究しています。代数学や代数的思考に関する数学教育の研究にも興味があります。
 教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	理数系教科教育実践研究	子どもが算数数学を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもなりの考え方を生かした授業づくりを研究しています。
 教授 庭瀬敬右	ナノ・マイクロ科学、 物性物理学、 理科教育学	授業の指導計画と教材研究の 演習、理科授業の理論と実践 (エネルギー)	ミクロの世界の観察や実験、モデル化を通して、自然界の美しさと物理の面白さを共に実感しましょう！
 教授 笠原 恵	生物教育、 分子生物学、 遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	生命現象や身近な生物の不思議に興味を持ち、さまざまな視点からそれらを考察し視野を広げてほしいと思います。
 教授 小和田善之	機能物質化学、 量子材料化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科実験開発実践演習I・II	身近な物質に起きる反応や現象を原子・分子の世界から考察することで、化学への理解を深めてほしいと思います。
 教授 山口忠承	教育工学、 科学教育、 有機光化学	理科授業の理論と実践(粒子)、 理科教材開発実習A	化学を通じて身の回りにある物質が役に立っていることや物質の変化に興味を持ってほしいと思います。
 准教授 石原 諭	場の理論、 素粒子理論、 物理教育	理科教科内容論I、 理科実験実地演習	物理は自由だ。教育研究テーマについても自由な発想で考えてみてください。
 准教授 竹村静夫	構造地質学、 層序学、 地学教育	理科授業の理論と実践(地球)、 理科教材開発実習B	フィールドは教材の宝庫です。野外調査の基本をマスターし、現場での教育に役立ててください。
 准教授 猪本 修	物理教育、 力学系・非線形物理学	理科授業の理論と実践(エネルギー)、 理科教材開発実習	マクロな系の協力学現象を研究しています。物理教育に関する教材開発研究やアプリ開発なども行っています。
 助教 山本将也	植物進化多様性学、 分子系統地理学、 保全遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、 理科教材開発実習B	植物がたどってきた歴史や生き方を紐解くことで「動けない生き物」である植物の面白さを体感してほしいです。

理科

小学校教員養成特別コース

教育実践力と魅力のある先生を育てる

小 学校教員には、深い児童理解に支えられた学級づくりや授業づくりとともに、地域や保護者との連携や自らが学び続けることが求められています。そのため、本コースでは、「学級経営」「教科等の指導」「個の課題」「教育実践研究」「教科の授業内容・方法」の5分野で編成された多様な授業科目と、大学と学校現場が一体となった実地研究（実習等）などの特色ある授業内容に加えて、少人数ゼミを通じた細やかな指導、教員採用に向けた手厚いサポート体制を整えています。

また、これからの学校現場は、Society5.0時代に生きる子どもたちのために、学習者用デジタル教科書の導入などICT機器をこれまで以上に活用し、一人一人の子どもたちに個別最適化された学びや創造性を育むことが求められています。一方、体験学習などの重要性がますます高まることは言うまでもありません。これらに対応するスキルを備えた教員を養成するため、小学校教諭免許状を取得していない人を対象とした3年制コースと、すでに小学校教諭の免許状を持っている人を対象とした2年制コースを設置しています。

3年制コース

対象 これから小学校教諭免許状を取得しようとする人
本学学校教育学部で教職課程と教職大学院の授業科目を併せて履修することで、小学校教諭専修免許状を取得できます。現在、小学校教諭免許状を取得していない人でも、一から小学校教諭免許状を取得できます。

同コースの
学生対象

授業料免除の制度あり!
詳しくはp.48、p.58へ

2年制コース

対象 既に小学校教諭1種または2種の免許状を取得している人
学校教育の最新動向や学校現場の実情を踏まえ、学生一人一人がこれまでに培った力をより一層、実践的なものに向上させ、自信を持って小学校の教壇に立てるよう、教員としての確かな基盤を身に付けることを目的としています。小学校教諭2種免許状を取得している人でも、修了時には小学校教諭専修免許状を取得できます。



学びのフロー図 変更する可能性があります。

年次・期	1年次		2年次		3年次	
コース	前期	後期	前期	後期	前期	後期
3年制コース	小免取得科目	小免取得科目・専門科目	小免取得科目・専門科目	初等実習 4週 小免取得科目	小免取得科目・専門科目	専門科目
				実地研究I・II 計10週	インターンシップ（通年60時間以上）	
2年制コース	共通基礎科目・専門科目		専門科目			
	インターンシップ（通年60時間以上）			基盤実習 4週 指導力向上実習 6週		

実習では、教科の指導内容・方法・技術をはじめ、特別活動、生徒指導、担任業務など多岐にわたる小学校現場において、授業づくりや学級づくりについて学びます。連携協力校の学級担任（メンター）と大学の修学指導教員、学生が協働してチーム・コンサルテーションを実施し、学校現場における実践的指導力の向上や自己教育力の基礎を修得します。

主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 論理的表現力を育成するための討論の授業づくりについて—三角ロジックに着目して—
- ▶ 地理的な見方・考え方の育成を目指した小学校社会科産業学習の授業デザイン開発—第5学年単元「日本の畜産業」の場合—
- ▶ 一人称視点の動画を取り入れた指導が技能・心理面に及ぼす影響—第6学年児童における開脚跳びを対象として—
- ▶ 昆陽池の生態系を学習するカードゲーム教材の開発と評価—小学校第6学年「生物と環境」における食物連鎖カードゲーム—
- ▶ 外国語科におけるジョイント・ストーリーテリングを通した児童の学びの変容—協同的活動場面に焦点を当てて—
- ▶ 低学年の聴覚障害児における算数文章題の学習指導に関する研究—図的表現を活用して—

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 関 浩和	社会認識教育学 (社会科・生活科)、 教育課程論	特色あるカリキュラムの理論 と実際A・B、教科・領域の 内容・指導法研究Ⅲ(社会科)	研究(Research)と実践(Practice)の往還を意識し ながら、教育実践研究に取り組みましょう。
 教授 吉川 芳則	国語科教育学	教科・領域の内容・指導法研究I (国語科)、児童生徒を活かす 学級経営の実践演習A、B	言葉によってよく思い、表現することで豊かに生きる。 このことにつながる授業づくりを追究しましょう。
 教授 筒井 茂喜	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	初等体育科教育法、 教科・領域の内容・指導法研究Ⅳ (体育科)	「運動が上手にできる子ども」を育てる「よい体育授業 づくり」を講義(理論)と模擬授業を通して考えます。
 教授 河邊 昭子	音楽科教育学	教科・領域の内容・指導法研究I (音楽科)、特別活動指導と自 治的文化活動の展開	小学校教員に求められる実践的指導力とともに、自己 の人間力を向上させることができるコースです。
 教授 勝見 健史	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	授業における実践的評価論、 総合学習の創造過程と評価法	評価論を視点とした授業改善、特に単元組織・質的 評価・学習支援に関する実践的研究に取り組んでい ます。
 教授 山本 智一	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教科・領域の内容・指導法研究 Ⅳ(理科)、 総合学習の創造過程と評価法	科学的な説明活動の授業への導入や、社会における 科学問題の教材化に関する指導法開発に取り組んで います。
 教授 別惣 淳二	教育実習、 教師教育、 教育経営学	教育実地基礎研究Ⅰ、 教育実地基礎研究Ⅱ	本コースでは、学生が自身の教育実践を対象として 研究し、論文にまとめる力を身に付けてほしいと思 います。
 教授 加藤 久恵	算数教育、 数学教育	教科・領域の内容・指導法研究Ⅱ (算数科)、教育実地基礎研究Ⅰ (レポート作成法の研究)	子どもが算数を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもの 考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究してい ます。
 教授 前芝 武史	彫塑・デッサン、 美術解剖学	彫塑造形論、 彫塑教育論	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。 事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
 准教授 鈴木 正敏	幼児教育、 多文化教育	教育実地基礎研究Ⅱ、 授業におけるICT活用	実践的な知見を基に、子どもたちが楽しく主体的に学 べる授業づくりを目指します。

小学校教員養成特別コース(3年制コース) 希望者はここに注目

小学校教員養成特別コース
(3年制コース)
学生対象授業料免除

小学校教員養成特別コース(3年制コース)の学生は、小学校教員免許に関する所定の単位を修得できる場
合は2年次に教員採用試験を受験することが可能です。2年次に教員採用試験に合格し、各自治体の採用猶
予を受けて教職大学院の修学を継続する者は3年次の授業料を免除します。

Voice

最高の環境で 学ぶ喜び

小学校教員養成特別コース2年

東川桃子さん



学部ではピアノを専攻し、中学校(音楽)の教育実習を経験しましたが、小学
生に音楽の魅力を伝えたいという気持ちが強くなり、小学校教員としての実践
力を身に付けるため大学院に進学しました。本コースは、専門性の高い先生方
から教育理論とそれに基づく指導方法を学ぶことができ、実践力を鍛えられる
最高の環境だと感じています。教員採用試験の対策も充実しており、毎週のセ
ミナーや、コーディネーターの先生方の手厚い指導を受けることができます。

また、さまざまな経歴を持つ仲間と同じ夢を追い掛け、切磋琢磨し、豊かな学
びを得られるのも本コースの魅力です。この恵まれた環境に感謝して、学び続
けていきたいと思っています。

グローバル化推進教育リーダーコース

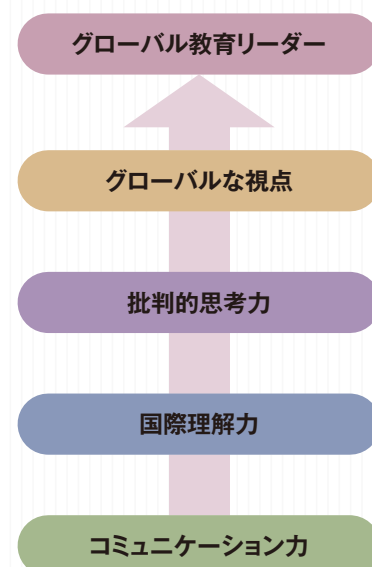
グローバル教育、進んでいますか？

グローバル化推進教育リーダーコースでは、グローバル化が進む社会に対応できる児童生徒を育てるスクールリーダーを育成します。国際社会のさまざまな事情について学び、考え、議論し、批判的思考力を身に付けるとともに、柔軟な理解力を養います。また、SDGsを踏まえた授業開発等を通して、国の内外を問わず人々が共に生きるための基盤となるコミュニケーション力をつけ、それらを総合的に実践できる教員を養成します。

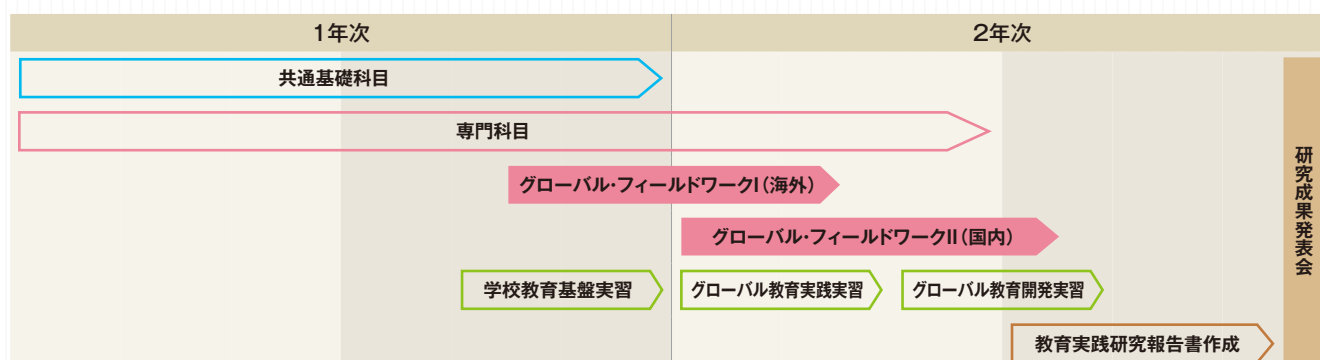
これらを遂行するために、以下のような取り組みを行っています。

- 各教科にSDGsやグローバル教育を盛り込んだ授業開発
- 学校の先生方を対象としたグローバル教育研修開発

「国際理解教育」「英語を活用した論理的思考」等の科目においてグローバル教育の専門知識や学術研究に必要とされるスキルを習得します。「世界の教育」では、オンラインで世界各国の教育関係者からその国の教育事情について学び、国内・海外で実施するフィールドワークでは、学校や教育関係機関を訪問して、多様な現場からグローバル教育の実践を学びます。さらに、研究課題に即した教育実践に取り組める実習科目が設定されており、段階的に実践力が身に付くカリキュラムが編成されています。



2年間の学びの流れ 変更する可能性があります。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 小学校におけるグローバル化教育の一方策—学校経営の視点から実践例の提示—
- ▶ 主体的に英語を学ぶ児童を育成するための実践—相手が見える国際交流を通して—
- ▶ 小学校外国語におけるグローバル化教育の展開—グローバルイシューを組み込んだレッスンプランの提示—
- ▶ 高校生を対象とした短時間のグローバル教育実践の意義
- ▶ 日本人学校における特別支援学級の開設とその運営状況

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 川崎由花	教育学	国際理解教育、世界の教育、英語を活用した論理的思考、グローバル・フィールドワークI (海外)	語彙習得等の学習効果についての研究が専門ですが、グローバル教育を盛り込んだ授業開発にも取り組んでいます。
 講師 吉田夏帆	教育社会学(教育開発)、国際理解教育	国際理解教育、世界の教育、英語を活用した論理的思考、グローバル・フィールドワークI (海外)	開発途上国と呼ばれる国々の教育について研究しています。また、そこでの研究成果や現地調査での知見などを踏まえて、国際理解教育やグローバル教育の実践および評価にも取り組んでいます。



授業をクローズアップ!

研修留学生を迎えて英語でディスカッション

実用外国語演習



モ ロッコ、ガボン、マラウイからの研修留学生が英語の授業に参加してくれました。皆さん自国では英語の先生です。日本の英語教育の在り方について意見を述べ合い、活発なディスカッションとなりました。

国際学会で発表する学生

グローバル教育実践課題研究

学 生たちは国内外の学会で研究成果を発表しています。写真は、平成29年7月に広島で行われた国際学会において、高校生対象の異文化理解に関する新しい教育的アプローチについて、英語で発表をする様子です。



フィリピンでの小学校訪問



台湾での中学校訪問



ベトナムでの小学校で模擬授業

Voice

外を見て、内を知る

グローバル化推進教育リーダーコース2年

佐井琳さん



令和元年度末以降、社会情勢が急速に変化し、多様な教育サービスが提供されるようになったことから、教員という立場から学校教育の価値を問い直す場面が多くなりました。諸課題の解決に向け、国内外の実践を通して日本の教育を見直したいと思い、本コースに入学しました。

本年度の「世界の教育」の授業では10カ国以上の教育関係者をゲストスピーカーに迎え、お話を伺う機会がありました。他にも本大学院ではオンラインでの海外研修が企画されるなど、情報を得るだけでなく新しいグローバル教育の取り組みを体験することができました。また、大学院ではさまざまな所属や立場の方々と議論する機会も多く、充実した日々を過ごしています。

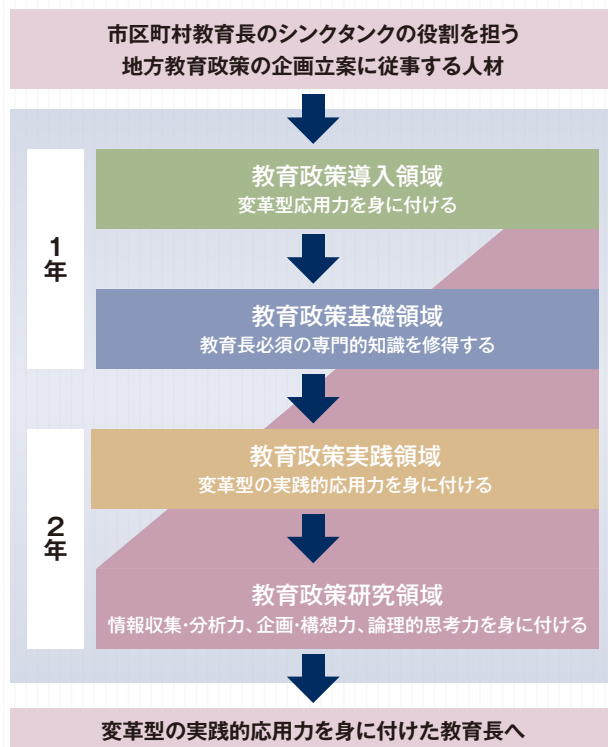
教育政策リーダーコース

日本の新しい地方教育行政をリードする人材育成

教育変革期における地方教育行政のリーダーの役割はますます重要なものとなっています。未来を創る子どもたちの教育に加え、地方分権化社会における新たな地域社会を創り出すために、教育行政の役割はかつてないほどの転換期を迎えています。

そのような中、教育政策リーダーコースは日本で初めてとなる、現職教育長や将来の教育長候補および教育行政の幹部の養成コースです。多忙を極める学生のために、学修形態を教員が地元に出向いて行う授業や双方向のオンライン授業、VOD（ビデオ・オン・デマンド）による視聴学習、神戸市のサテライトキャンパスにおける集中演習とし、学生の業務への影響軽減を図るなど、学びやすいものとしています。

また、海外、自自治体首長部局・教育機関、他自治体等で実習を行う実習科目も充実しており、教員と実習先のメンターとの綿密な連携と指導により、地域教育行政の変革を推進し得る資質能力の獲得を図ります。



授業をクローズアップ!

自治体教育政策の実践事例から学ぶ

教育政策実践論

担当教員：押田貴久准教授、富田明徳附属小学校長、合田哲雄客員教授



自 自治体と比較自治体におけるさまざまな教育政策の実践事例の検討を踏まえ、その実践者を招聘または訪問し、講義演習に基づく経験交流や意見交換、データ収集を行います。これらを通じ、地域の教育課題に応じた政策案の構想を目指します。

現職の教育長等と共に学ぶ交流型演習

教育行政リーダーシップ特論演習I・II

担当教員：日渡円特別教授、堀内昭彦教授、押田貴久准教授

ト ップリーダーとしてのリーダーシップについて、学生以外の教育長等と共に公開型の演習形式で学びます。お互いに議論を深め、その中から自分なりのリーダーシップの在り方について考え、実践に結び付けます。



主な教育実践研究報告書のテーマ

- ▶ 児童・生徒数が減少する地域における教育環境の整備に関する考察
- ▶ 教育長と首長の連携・協働による教育行政の新たな展開～魅力ある学校づくりで選ばれ続ける自治体をめざして～
- ▶ 児童生徒の学力向上と地域社会の利益創出を保障するコミュニティ・スクールの在り方～社会に開かれた教育課程の創造を通して～
- ▶ 新教育委員会制度における教育委員の果たすべき役割～「民意吸収」と「民意実現」の視点から住民統制的教育委員会の実現を目指す～
- ▶ 小規模自治体教育委員会における学力保障施策の有効性～人口10,000人未満の自治体における学力向上のための施策モデル～
- ▶ 「地域とともにある学校」の構築を支援する教育委員会の在り方

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 特別教授 日渡 円	教育政策、 研修プログラム開発、 コミュニティスクール	教育行政リーダーシップ特論 演習I・II、 地域と学校	新制度下の教育長に必要な資質能力と養成について 研究しています。
 教授 堀内昭彦	教育行政、教育課程	教育行財政の立案と分析、 教育行政リーダーシップ特論 演習I・II	教育行政や教育課程等について研究を行っています。 本コースでの学びを通じて、地方教育行政のトップ リーダーに求められる力を身に付け、さまざまな地域 課題のよりよい解決を目指していきましょう。
 准教授 押田貴久	教育行政、 教育政策、 カリキュラム開発	教育政策実践論、 地域教育経営と教育委員会の 学校経営改善施策	自治体における教育政策過程に関する研究を行って います。教育課題の解決に向け、共に考えていきま しょう。

 客員教授 天笠 茂	 客員教授 新井 肇	 客員教授 佐藤克敏	 客員教授 藤川 聡
 客員教授 水本徳明	 客員教授 青木栄一	 客員教授 今中博章	 客員教授 小川正人
 客員教授 露口健司	 客員教授 貝ノ瀬滋	 客員教授 細田真由美	 客員教授 澤野幸司
 客員教授 遠藤洋路	 客員教授 合田哲雄	 客員准教授 阿内春生	 客員准教授 上田真弓
 客員准教授 葛西耕介			

Voice

地域住民の願いや希望を 叶える教育施策の 実現を目指して

教育政策リーダーコース2年

中島正人さん



「公務員の目標は、地域住民の願いや希望(民意)を叶えることである」
教育行政マネジメント特論演習での日渡教授の言葉です。現在、教育行政職
を担う者として、この言葉が示す責任の重さに身が引き締まる思いがしました。
定年退職を目の前にして大学院生となりました。不安を抱えながらの就学で
したが、著名な先生によるアウトリーチ型の講義は、いつも新たな発見があり、
なんと面白いことか。
また、同期の仲間たちが素晴らしい。皆、自らの教育政策を通して、変革期を
迎えた日本の教育の礎を築こうと真剣に学んでいます。
優れた講師陣と志高き学友との学びの先には、地域住民の願いや希望を叶
える教育政策の実現があることを信じて、これからも研鑽を重ねます。

学校教育コース

わたしの学びの軌跡をみつめ実践研究力を高める

学 校教育コースは、働きながら学びたい現職教員のニーズに応えるための夜間クラスのためのコースです。本コースでは、学校現場での学習指導力や生徒指導力といった教員に必要な資質・能力を、高度で幅広い知識獲得、学校で起こる具体的課題の協働的解決を通して身に付けます。

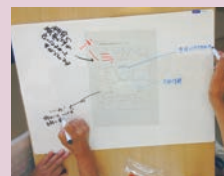
このような資質・能力を身に付けるために、本コースのカリキュラムは2つの特徴を持っています。1つ目は、日頃の学校現場での教育実践を検証・改善するゼミナール形式のリフレクション科目です。院生は、その過程を蓄積してポートフォリオとしてまとめます。現実には起こっている課題や参考になる先進（または好）事例などをチームで検討し、最適解を導く過程を重視します。また、リフレクションの過程をコース学生全員で共有するオープンゼミを定期的に行います。2つ目は、各教科の教材研究、授業づくりなどを中心に、幅広いニーズに応えるカリキュラムを編成していることです。

本学教職大学院の特徴は、多くの現職教員が学んでいることです。現職教員同士の交流によって、学校現場の理解が一層深まります。これまでの夜間クラス修了生からは、生涯の友を得た本場に貴重な学びの場であったとの声が多く寄せられています。



リフレクション科目の特色

リフレクション科目では、学習指導や生徒指導など日頃の教育実践を客観的・科学的に振り返ることで、新たな発見や気づきを得て教育実践の改善につなげる未来志向の方法論を学びます。例えば、授業の流れや生徒指導に関する自分自身の行動や考え方などについて、「できたこと」と「やりたかったこと」の差異に着目し、それを生んだ要因を先行研究や先進事例の知見を参考にしながら検討することで改善策を考え、新たな教育実践につなげます。



■日頃の教育実践のリフレクションが核となる2年間の学び

1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期	
リフレクション科目							
テーマ設定	オープンゼミ	立案 ↓ 実践 ↓ 省察 ↓ 改善	オープンゼミ	立案 ↓ 実践 ↓ 省察 ↓ 改善	オープンゼミ	立案 ↓ 実践 ↓ 省察 ↓ 改善	オープンゼミ
共通基礎科目 専門科目		共通基礎科目 専門科目		専門科目		専門科目	
学びの蓄積 ポートフォリオ							
学校現場等における教育実践							

担当教員

(変更する場合があります)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 筒井茂喜 ※1	健康・スポーツ科学、 身体教育学、 体育科教育学	教育実践リフレクション	生活や授業における子どもの発言、行動の持つ意味を客観・論理的に振り返り、学級づくりおよび授業改善に生かす。こんな学びを共に考えましょう。
 教授 山本智一 ※1	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教育実践リフレクション	日々の授業実践や学級づくりについて、子どもが知識や文化を構築するプロセスに注目しながら分析し、よりよい実践を目指していきます。
 教授 山内敏男 ※1	教育学、 教科教育学、 社会科教育学	教育実践リフレクション	社会科教育・認知心理学・教員研修に関わる研究に取り組んでいます。「教える・学ぶ」は他者の介在なしには深まらないことを授業の実際から考えます。
 教授 勝見健史 ※2	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育鑑識眼	教育実践リフレクション	各校の課題に関わりながら、教師の力量に還元させていく実践的研究に取り組んでいます。皆さんの自律的な研究展開のサポートができればと思います。
 教授 加藤久恵 ※2	算数教育、 数学教育	教育実践リフレクション	数学的な見方・考え方や、メタ認知を育てることを目指して、子どもの考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究しています。
 教授 別惣淳二 ※3	教師教育、 実地教育、 教育経営学	教育実践リフレクション	教育実習生の力量形成に関する研究を行っています。特に、省察力に注目して学び続ける教師を養成するためにはどうすればよいかを考えています。
 准教授 鈴木正敏 ※3	幼児教育、 多文化教育	教育実践リフレクション	幼児教育に関する知識をもとに、主体的・対話的で総合的な学びとは何かを探っています。ワクワクする授業づくりや子どもに寄り添った実践と一緒に考えましょう。

※1は令和3年度、※2は令和4年度、※3は令和5年度入学者の修学指導教員(教育実践リフレクション担当教員)です。半期ごとのオープンゼミは教員全員で関わります。

学校教育コースの特徴 働きながら学べる夜間のみのコース

履修モデル	
リフレクション科目 教育実践リフレクション(グループ制・日々の実践等) ※グループは教員と学生が相談の上、決定 半期に1回、オープンゼミ(合同)を実施 (学生個々の課題などをシェア)	共通基礎科目、専門科目 ※学生の課題等に応じて各カテゴリーの科目から自由に選択 (修士の科目も履修可) 学習指導(学習科学) 生徒指導 教育総合 特別支援教育 学校経営 心理 など
学びの蓄積	ポートフォリオによる評価 ※教育実践研究報告書は作成しません ※5年以上の教職経験者を対象とし、実務経験等に応じ実習科目の全部または一部を免除

Voice

学びの羅針盤が ここにはある!

学校教育コース2年

富田有統さん



学級経営に力を入れて取り組んできた10年。そして、GIGAスクール構想のスタートにより任された情報教育担当。今の自分の実践が正解なのか。研究してきた学級経営と新たに始まったタブレット端末の活用は、どうミックスできるのか。その内なる問いに対し、学校教育コースでは高度で幅広い知識を獲得できる数々の科目が待っていました。未知との遭遇、目からうろこの学びができ、充実した日々です。特に、ゼミ形式のリフレクション科目では、日々の教育実践、つまり「新鮮な話題」をテーマに振り返ることができ、そこでの学びは翌日の教室ですぐに実践できます。これぞ現職・夜間コースだからこそできることです!!

教育プログラム

大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得

理数系教員養成特別プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース」を志願する人

プログラムの特徴

- ▶ 大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得
- ▶ 教員免許状を持っていない人も対象
- ▶ 大学院の教育課程と学部 of 教職課程を併せて履修
- ▶ 長期履修学生制度(3年間)を活用(授業料は大学院2年分のみ)
- ▶ 理科の実験指導のための授業科目が充実
- ▶ 大学院の科目に併せて体系的な学校現場での実習を実施
- ▶ 受講者のためのアドバイザー教員を配置
- ▶ 受講者専用の部屋(プログラム支援室)を自然、生活・健康棟に整備
- ▶ 修了者のほとんどが現職教員として活躍中

3年間で大学院の教育課程と学部 of 教職課程を履修し、数学または理科の教員免許状を取得して中学校や高等学校の教諭を目指すプログラムです。学部と大学院の科目を両方履修することで、理数系教員としての教科・教職に関する高度な専門知識を修得します。また、これらの学部・大学院の科目に加え、本学学部の実地教育と大学院専門職学位課程における学校現場での実習によって、実践力のある教員を養成します。

本来、専門職学位課程(教職大学院)は教員免許状を持っている人が対象ですが、本プログラムの受講生の場合は学部段階で教職課程を全く履修していなかった人(教員免許状を持っていない人)も教職大学院に入学することができます。長期履修学生制度を活用して3年間で大学院を修了し、学費は大学院2年分の授業料を3年間に分割して納入します。学部の教職課程を履修する費用はかかりません。そして、大学院修了時には中学校教諭・高等学校教諭専修免許状の「数学」または「理科」のいずれかを取得できます。

本プログラムの受講生は、専門職学位課程の理数系教科マネジメントコース志願者に限ります。また、同コースの「数学」または「理科」の分野のうち、プログラムで志願する免許と同じ分野を志願する必要があります。詳細は大学院学生募集要項等をご覧ください。

受講希望者は、8月選抜または11月選抜の大学院の入試とともに、本プログラムの選考試験も受験してください。

特別支援教育の知識・技能を修得

特別支援教育プログラム (神戸ハーバーランドキャンパス・夜間のみ)

対象 夜間クラスの学生

神戸ハーバーランドキャンパスの夜間クラスにおいて、特別支援教育領域(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の授業科目を開講し、特別支援教育に対する十分な知識・技能を修得できるよう支援します。3年以上の教職経験のある人は、授業科目の履修状況に応じて特別支援学校教諭(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の1種または2種の教員免許状を取得することが可能です。

3年で本学と海外の大学の2つの学位を取得

ダブルディグリープログラム

対象 修士課程を志願する人(8月選抜のみ)

※臨床心理学コース・発達障害支援実践コース・各コース夜間クラスを除く

教師教育の分野における教育研究を国際的にリードするグローバル人材の養成を目的に、3年間で本学大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]と韓国または台湾の協定大学の大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]の教育課程を履修するものです。修了時には本学と協定大学の双方の学位を取得できます。

協定大学

- ▶ 大邱教育大学校(韓国)
- ▶ 京仁教育大学校(韓国)

- ▶ 屏東大学(台湾)
- ▶ 台北教育大学(台湾)
- ▶ 高雄師範大学(台湾)

兵庫教育大学では、各専攻・コースの正規カリキュラムに加え、現代的な教育課題やニーズに対応した多彩な教育プログラム等を開設しています。各専攻・コースで自身の専門性を高めるとともに、教育プログラム等で教員としての多様な能力の向上や教員としての幅を広げてください。

現場の子育て支援課題に対応する力を養う

子育て支援コーディネーター 養成プログラム

対象 修士課程の「幼年教育・発達支援コース」に所属する学生

今日、幼保連携型認定こども園、幼稚園、保育所では子育て支援機能の充実が図られており、地域においてもさまざまな子育て支援事業が展開されています。そのため、保護者支援や地域連携などの子育て支援の専門性が強く求められています。本プログラムでは、修士課程の幼年教育・発達支援コースの学生を対象に、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた人材を養成します。本学の子育て支援ルームや附属幼稚園、地域の子育て支援施設での演習を含む所定の科目の単位を修得することにより、「子育て支援コーディネーター」の認定証が授与されます。

健康教育を実践できるスペシャリストを目指す

健康教育実践プログラム

対象 修士課程の「学校心理・学校健康教育・発達支援コース」または「生活・健康・情報系教育コース」に所属する学生

児童生徒の健康課題は、飲酒、喫煙、薬物乱用、問題ある性行動などの危険行動、心の健康問題、食習慣の乱れ、運動不足、睡眠不足、インターネットの過剰使用、アレルギー性疾患など複雑化、多様化しており、学校には、健康に関わる社会的要因を踏まえ家庭・地域、専門機関等と連携した健康教育が求められています。「健康教育実践プログラム」は、そのような健康教育の開発、実施、評価等の実践力の向上を目指します。健康教育の基礎的内容に関する2科目から2単位以上、専門的内容に関する8科目から8単位以上履修することにより、履修証書を取得できます。

理科の実験・観察指導のスペシャリストを養成

コア・サイエンス・ティーチャー (CST) 養成プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系教科マネジメントコース(理科)」に所属する学生

実験や観察を中心とした科目群を履修することで、児童生徒に理科の面白さを伝えることができる知識と技能を修得し、地域の初等・中等教育の場で指導的な役割を担う理科教員の養成を目的としています。

専門職学位課程(教職大学院)の理数系教科マネジメントコースで開設する授業科目から所定の単位を修得の上、CST養成プログラム運営室が認定した演習やセミナー等に出席することにより、履修証書を取得できます。

理数系教員養成特別プログラムとの重複受講が可能です。

大学院で小(中)学校の
教員免許状を追加で取得

小中連携教育プログラム

詳細はp.3を参照

博士課程への進学を見据えた
よりアカデミックなスキルを修得

研究力向上特別プログラム

詳細はp.60を参照

修学支援

入学料・授業料(令和4年度入学生)

入学料 28万2,000円 入学手続き時に納付

年間授業料

一般学生(2年)	長期履修学生許可者(3年) 理数系教員養成特別プログラム受講者を含む ※通常の2年分の授業料を3年間で分割納入することになります	小学校教員養成特別コース(3年制コース)
53万5,800円	35万7,200円	53万5,800円

年額の2分の1を2回(前期・後期)に分けて納付【納付期間】前期5月1日～31日、後期11月1日～30日

●在学中に授業料の額が改定された場合は、その時点から新たな授業料が適用されます ●2年次から、長期履修学生(3年)から標準修業年限(2年)への変更を許可された場合、標準修業年限(2年)と長期履修学生(3年)の授業料の金額(前期・後期合計)の差額17万8,600円を1年次の許可時に納付していただきます。また、2年次から新たに長期履修学生(3年)になることを許可された場合、2年次前期分から長期履修学生(3年)の授業料の金額を納付していただきますが、入学当初からの長期履修学生より授業料(3年)の総額が17万8,600円増となります。

長期履修学生制度

職業を有しているなどの事情により、2年の修業年限で教育課程を履修することが困難な学生を対象に、計画的に教育課程を履修することができる「長期履修学生制度」を設けています。この制度を利用すれば、3年をかけて自分のペースで無理なく授業や研究指導を受けられ、学業と仕事を両立しやすくなります。

●長期履修を申請できる人

- ▶夜間クラス志願者で職業を有する等の事由のある者
- ▶理数系教員養成特別プログラム受講申請者
- ▶学校経営コース(フレックスクラス)、教育政策リーダーコース、学校教育コース志願者で職業を有する等の事由のある者

入学料の免除(全額または一部免除)・徴収猶予

条件: 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または入学前1年以内に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

授業料の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。または各期の納期前6カ月以内(新入生は入学前1年以内)に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

令和3年度実績		
● 入学料免除	● 授業料免除(社会人経験のある学生および現職教員学生対象の授業料免除を除く)	
申請者25人	前期分: 申請者50人	後期分: 申請者54人
全額免除…0人	全額免除…36人	全額免除…43人
4分の3免除…6人	4分の3免除…4人	4分の3免除…5人
半額免除…15人	半額免除…6人	半額免除…6人

奨学金制度等

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構では、学業、人物がともに優れ、経済的な理由により修学が困難であると認められる者を対象に、奨学金を貸与しています。貸与月額は第一種奨学金は5万円または8万8,000円、第二種奨学金は5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択します(令和3年度入学生実績)。

令和3年度奨学生

71人(併用貸与者6人を含む) 第一種63人、第二種14人
※全体の13%

※長期履修学生の第一種奨学金は3年間のうち2年間の貸与となります
※詳しくは日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp/> をご覧ください

兵庫教育大学独自の奨学金・授業料免除等

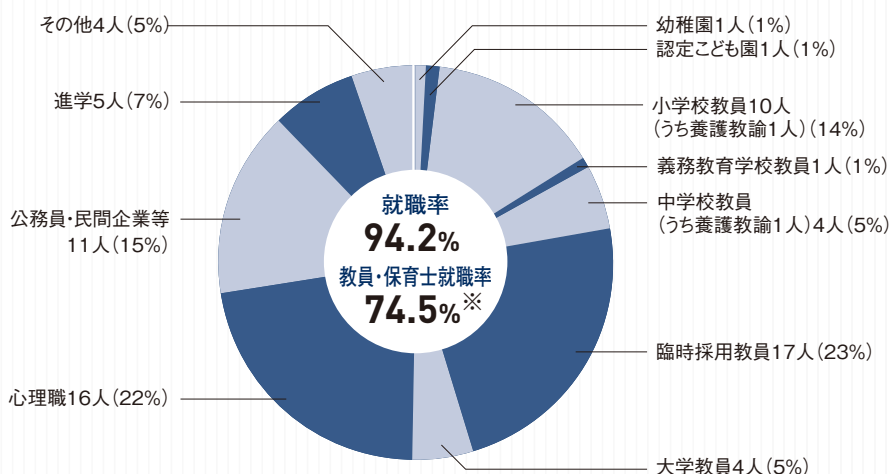
社会人経験のある学生	● 授業料の免除 「学び直し」やスキルアップを図りたい社会人経験のある学生を対象に、就学機会を確保するための授業料を免除する制度です。 【免除対象者】現在職に就いている者／2年以上の社会人経験(家事・家事従事を含む)のある者 【令和3年度実績】前期分：全額免除…12人、4分の3免除…2人(申請者25人) 後期分：全額免除…13人(申請者19人)
教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生	● 奨学金の給付(兵庫教育大学特例制度利用者奨学金) 教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生に対し、申請によって奨学金を給付します。
現職教員学生	● 授業料の免除 大学院修学休業制度利用者(勤務先から給与等が支給されない現職教員学生)は申請によって、他の授業料免除とは別枠で授業料を免除する制度があります。 【令和3年度実績】前期分：全額免除…12人(申請者12人) 後期分：全額免除…11人(申請者11人) ● 研究経費の助成 大学院で取り組む実践的な研究に対して経費を助成します。 【応募資格】現職教員学生(当該年度中に収入が無い者(大学院修学休業制度利用者)を優先します) 【助成金額】1人当たり年間10万円
大学院学校教育研究科1年に在籍する学生	● 研究経費の助成(大学院同窓会研究助成金) 大学院で取り組む研究に対して経費を助成します。入学後に申請し、1年次1月から2年次2月まで使用できます。 【助成金額】1人当たり20万円
大学院学校教育研究科(全学年)に在籍する学生	● 奨学金の給付(兵庫教育大学学会発表奨励金) ファーストオーサーとして全国的な学会で行う発表に対して、申請によって奨励金を給付します。 【給付金額】学会開催地により決定(1人当たり最高3万円)
新型コロナウイルス感染症感染拡大による家計急変のあった学生	● 入学科・授業料の一部免除 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、当該事由に基づく公的支援を受給している者、または事由発生後の世帯収入が家計急変前と比較し、2分の1以下となっている者を対象に、入学科および授業料の3分の1の額を限度として免除する制度です。 ● 入学科・授業料の徴収猶予 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者のうち、申請により入学科・授業料の納付が猶予されます。
小学校教員養成特別コース(3年制コース)に在籍する学生	● 授業料の免除 2年次に教員採用試験に合格し、かつ教員採用猶予制度を利用して3年次に進級する学生に対して、3年目の授業料を免除します。
海外に留学する学生	● 海外留学支援授業料免除 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が特に優秀であると認めた学生に支給します。 【免除金額】1年間の授業料全額 ● 海外留学支援特別奨学金 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が優秀な学生に支給します。 【支給金額】米国、ドイツ、スイス、フィンランド…1人当たり30万円 中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム…1人当たり10万円
本学附属学校教員大学院派遣制度	● 入学科・授業料の免除 教育委員会との人事交流により本学附属学校園に派遣された教員のうち、一定の要件を満たし、校園長の推薦を受け、学長が認めた者について、大学院に入学できる制度を設けています。

修了後の進路・就職

教職をはじめ、保育士、心理職に従事する人など
多様な分野で活躍しています。

令和2年度 大学院学校教育研究科修了者の就職状況(現職教員・留学生等を除く就職・進学を希望する者) 令和3年9月30日現在
令和2年度教員・保育士就職率

修士課程(74人)



※臨床心理学コースを除いて算出した数値

ほとんどの修了生が
教員や心理専門職に
就職しています

主な就職先

教員

兵庫県15、神戸市4、京都府2、千葉県1、大阪市1、堺市1、岡山県1、香川県1、愛媛県1、高知県1、私立3、大学附属3

心理職

病院・クリニック、行政心理職、教育・福祉センター、発達支援センター 他

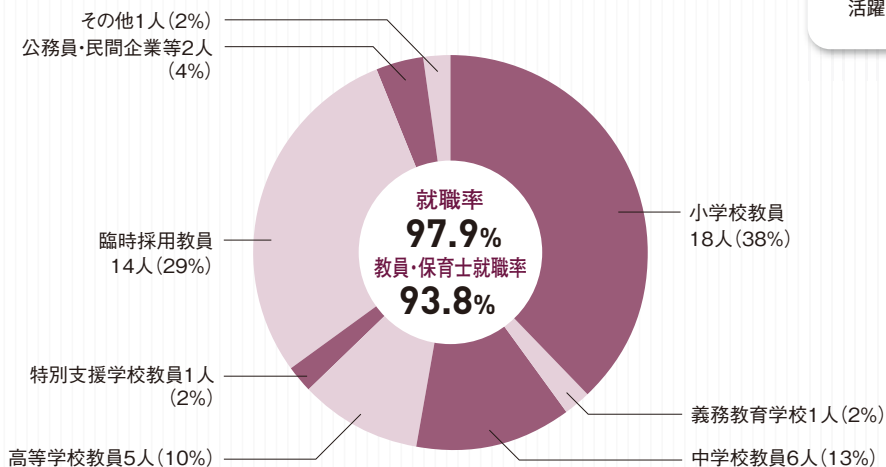
公務員・民間企業等

児童指導員、地方公務員、県立病院、福祉系企業 他

進学

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 他

専門職学位課程(48人)



全国の自治体で
活躍しています

正規合格率71%
(大学院進学特例制度を
活用した学生は13人)

主な就職先

教員

兵庫県17、神戸市2、福岡県5、横浜市3、広島県3、大阪府2、大阪市2、山口県2、高知県2、神奈川県1、岐阜県1、京都市1、長崎県1、福岡市1、大分県1、大学附属1

民間企業等

学校事務員 他

キャリア支援

教職キャリア開発センターでは、教員就職支援を中心に学生の多様なニーズに応じた支援を行っています。

就職支援

- ▶ 公立学校校長等経験者による就職相談
- ▶ 教員採用試験対策特別講座、筆記講座、実技対策他
- ▶ 教員採用試験対策模擬試験
- ▶ 教員採用試験対策模擬面接
- ▶ 教員採用試験学内説明会
- ▶ 就職に関する書籍の貸出、情報提供 など



集団討論練習会

ちょっと気になるQ&A

Q どのような支援を受けることができますか。

教職キャリア開発センターでは、教員・保育士希望の学生向けに元小学校・中学校・高等学校長等による個別面談を実施しています。面談では、面接・模擬授業対策から小論文添削等に至るまで幅広く対応しています。

また、就職対策講座はもちろんのこと、就職後にも生かせるキャリアデザイン講座を開講しています。

Q 兵庫県以外の教員採用試験に対応していますか。

各自治体の面接試験内容に応じた面接練習を行っています。また、全国の教員採用試験の筆記試験の過去問をそろえています。大学院は兵庫県以外の出身者も多く、修了後は全国の自治体で活躍しています。

Q 大学院進学による教員採用試験の優遇措置やメリットはありますか。

大学院進学や在学を理由とした採用候補者名簿登載期間の延長のほか、教職大学院修了見込みの学生を対象とした特別選考（1次試験免除）の実施など特例的な措置がある自治体もあります。受験する自治体によっては大学院在学中に2回教員採用試験にチャレンジできます。

また、教員就職後は、大学院修了や専修免許状取得により給与面でも優遇されます。

大学院連合学校教育学研究科（博士課程）

本大学院修了見込みで出願の場合 博士課程進学時の検定料・入学料免除！ 日本唯一の学位 博士（学校教育学）を授与

連合学校教育学研究科は、兵庫教育大学を基幹大学とし、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学、鳴門教育大学の6大学が連合して構成している後期3年のみの博士課程です。

実践に根ざした学校教育学を独自の学問分野として確立し、今日の

教育課題の解決と学校教育の質的改善・改革に貢献することを目的としており、学校教育実践について高度で専門的な研究を行い、学校教育実践学および教科教育実践学の分野において自立して研究・実践できる研究者や専門職教育者を養成しています。

博士課程への進学を見据え、よりアカデミックなスキル修得を希望する学生向けの教育プログラムです。

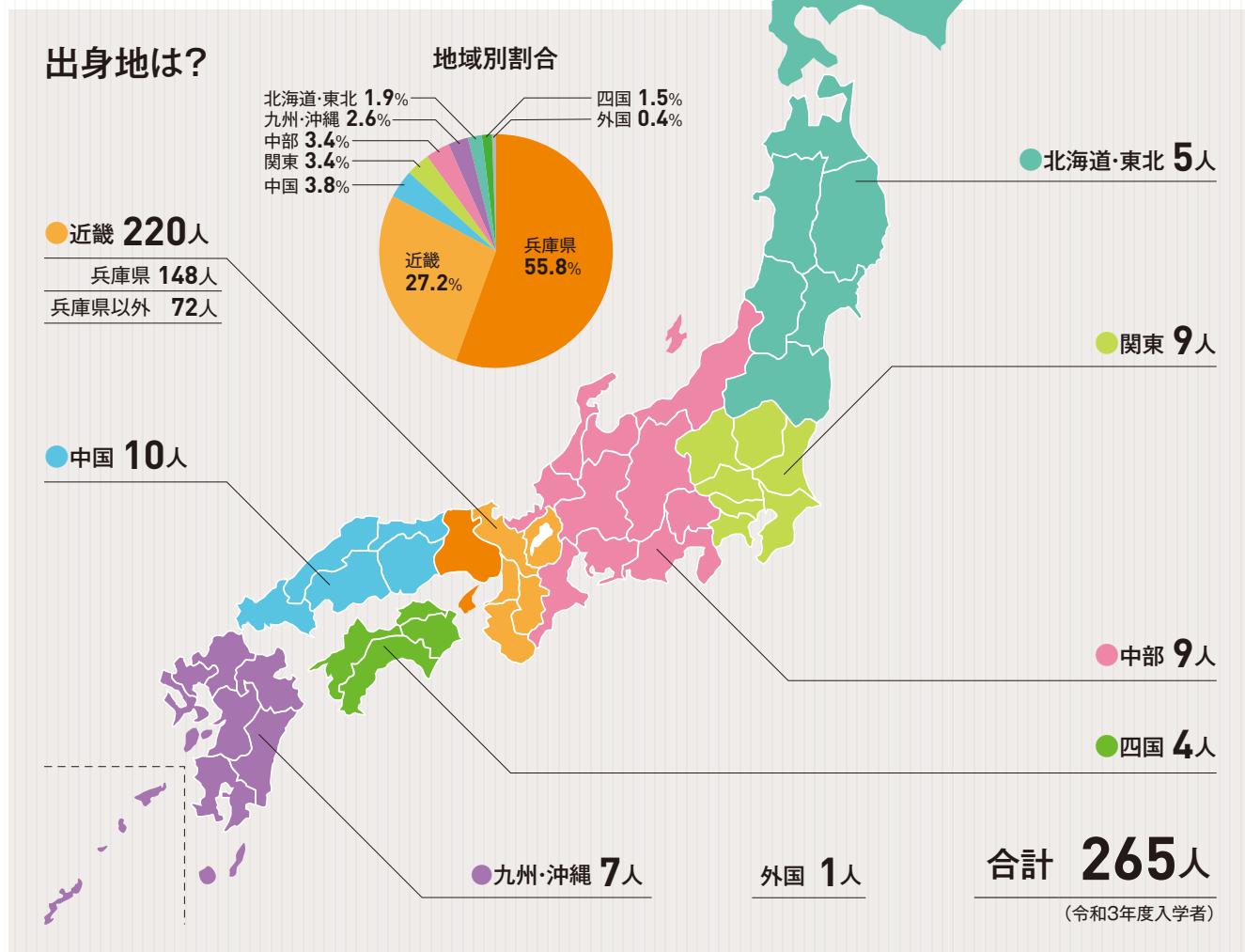
研究力向上特別プログラム

対象 専門職学位課程（教育政策リーダーコースを除く）に所属する学生

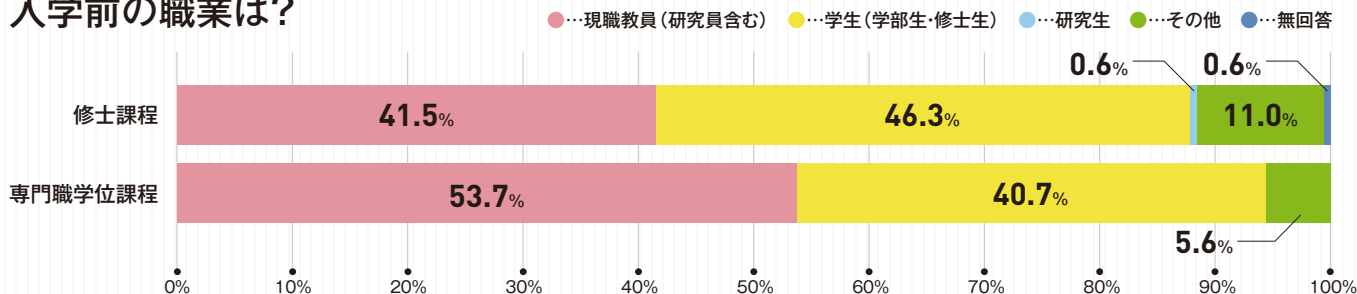
基本的な研究手法に関する講義等を履修し、個々の研究テーマに応じたアカデミック性の高い追加のゼミ指導を受けることで独自の研究成果を上げ、学会で発表することを目指します。

データで見る 大学院生のキャンパスライフ

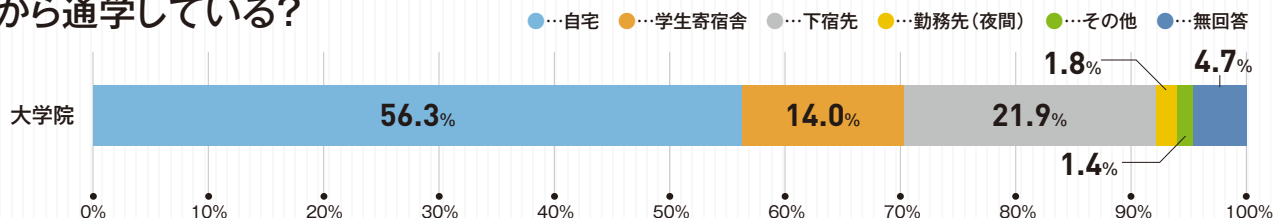
全国各地から集まった多彩な経歴の学生が在籍。
互いに刺激し、学び合える仲間との出会いが待っています。
また、キャンパス内にある学生寄宿舍は、
移動時間が削減できて非常に便利です！詳しくはp.64へ。



入学前の職業は？



どこから通学している？



学びをサポートする充実の環境

加東キャンパス

院生研究室



各コース・分野等では、大学院生の研究活動や協同的な学びを促進する目的で独自に研究室を設けています。学生同士の交流も活発に行われています。

附属図書館



平日は22時、土日祝日は17時まで開館し、蔵書は教育関係資料を中心に約36万冊。大学院生は15冊まで借りることができます。教材文化資料館を併設。

ラーニングコモンズ



総合研究棟、附属図書館、大学会館に学生たちの自主的な学びのための共有のスペース。教育実習や研究、就職対策などに活用できます。

大学会館



食堂、売店、ベーカリーカフェ、書店、ATMコーナー、和室、ボランティアステーション等が設けられ、課外活動での利用や大学内における生活上の利便が図られています。

教育実習総合センター



教職大学院や学校教育学部における学校等での実習を円滑に行えるよう支援しています。

発達心理臨床研究センター



発達心理臨床に関する高度な知識・技能を有する教員および心理専門職を育成しています。地域の方の心理的な相談に対応しています。神戸ハーバーランドキャンパスに分室（臨床心理相談室）を設置しています。

神戸ハーバーランドキャンパス

院生合同研究室



デスクスペースはパーティションで仕切っており、研究に集中できます。共用のパソコン、プリンターも配置しています。

図書室



各コースに関連する図書や雑誌を配架。加東キャンパスの附属図書館の所蔵図書の貸し出し、文献のオンライン検索もできます。

KATO

Campus Map

丘陵地に広がる加東キャンパスには多彩な施設がそろっており、学生寄宿舍も敷地内に並んでいます。加東市の中心地からも比較的近く、周囲の自然に恵まれた立地は学びにも生活にも最高の環境です。

キャンパス
パートナー

兵庫県立美術館

兵庫教育大学の学生は無料(一部有料)で各展覧会を観覧することができます。



総合研究棟(学生ホール)



自然、生活・健康棟



体育棟



講堂

1 講堂	8 情報処理センター	15 ラグビー・サッカー場
2 教育・言語・社会棟	9 事務局	16 和弓場
3 自然、生活・健康棟	10 総合研究棟	17 野球場
4 体育棟	11 教育子午線ホール	18 陸上競技場
5 芸術棟	12 発達心理臨床研究センター	19 ソフトボール場
6 共通講義棟	13 大学会館(食堂、バーカリーカフェ、書店、売店)	20 体育館
7 附属図書館	14 テニスコート	21 武道場

加東キャンパスで履修するコース(クラス)

修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース 昼
		幼年教育・発達支援コース 昼
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース 昼
		芸術表現系教育コース 昼
		生活・健康・情報系教育コース 昼
専門職学位課程	特別支援教育専攻	障害科学コース
		発達障害支援実践コース
	教育実践高度化専攻	学校経営コース 昼
		教育方法・生徒指導マネジメントコース 昼
		言語系教科マネジメントコース 昼
		社会系教科マネジメントコース 昼
		理数系教科マネジメントコース 昼
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)
		グローバル化推進教育リーダーコース 昼

学生寄宿舍

加東キャンパス東側の「学生寄宿舍エリア」に、学生の勉学に適する環境を提供することを目的として単身用学生寄宿舍7棟(全560室)、世帯用学生寄宿舍2棟(全60室)を設置しています。また、加東市内には学生向けのマンションやアパートなどもあります。

全室に
光インターネット
回線を完備

入居資格・寄宿料等について(令和4年度)

学生寄宿舍の入居者は大学が選考のうえ決定します。入居者は光熱水料、共益費なども負担しなければなりません。

入居者の選考基準について

- ① 片道通学所要時間
- ② 同一生計世帯全員の年間所得
- ③ 身体障害、風水害等の災害および不慮の事故等
- ④ その他特に考慮すべき場合

単身用学生寄宿舍

1カ月の負担額(目安)	約1万5,000円
寄宿料	4,300円(月額)
光熱水料	電気・ガス・水道料金
共益費	4,500円(月額)

世帯用学生寄宿舍

1カ月の負担額(目安)	約2万6,000円
寄宿料	[37㎡]……9,500円(月額) [48㎡]…1万1,900円(月額)
光熱水料	電気・ガス・水道料金
共益費	2,500円(月額)

学生寄宿舍の詳細はこちら！

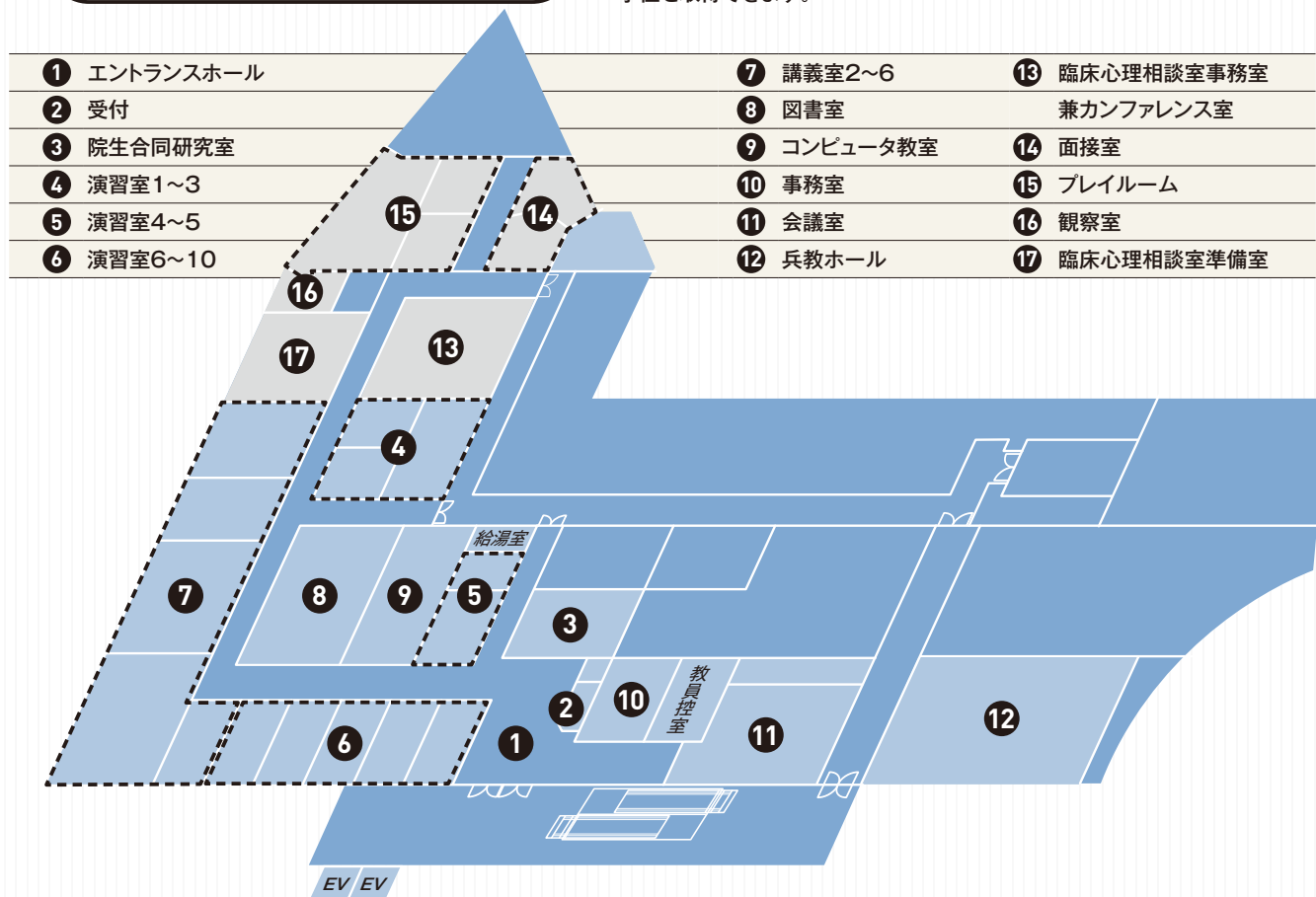
<https://www.hyogo-u.ac.jp/campuslife/dormitory.php>



※学生寄宿舍は計画的な整備・改修工事を行っています。改修工事の際には、他の棟への転居(引越し)に協力いただく場合があります

KOBE Harborland Campus Map

教職等の仕事を終えてから夜間の授業を履修できるよう、交通至便な神戸市中央区に開設。働きながら、神戸の港を望むキャンパスで学位を取得できます。



神戸ハーバーランドキャンパスで履修するコース(クラス)

修士課程	人間発達 教育専攻	教育 コミュニケーションコース 夜
		幼年教育・発達支援コース 夜
		学校心理・学校健康教育・ 発達支援コース 夜
		臨床心理学コース 昼 夜
		芸術表現系教育コース 夜
		生活・健康・情報系 教育コース 夜
		専門職学位課程
教育方法・生徒指導 マネジメントコース 夜		
言語系教科 マネジメントコース 夜		
社会系教科 マネジメントコース 夜		
理数系教科 マネジメントコース 夜		
グローバル化推進 教育リーダーコース 夜		
教育政策リーダーコース ※2		
	学校教育コース	

昼…昼間クラス 夜…夜間クラス F…フレックスクラス

※1…神戸ハーバーランドキャンパスでの講義(昼間クラスとの合同)のほか、土日に対面あるいは同期型オンライン授業で実施します

※2…神戸ハーバーランドキャンパスでの集中講義のほか、出張講義やビデオ教材等を用いた授業を実施します

注) ●専攻・コースにおける入学者の状況や希望により変更する場合があります。

●修士課程の課題研究と研究指導は、指導教員等と学生が相談の上、曜日・時限を設定することになります。

●修士課程の共通科目(選択必修)および神戸ハーバーランドキャンパスの特別支援教育プログラムの一部の科目は、土・日曜や休業期間中に集中講義として開講します。

●各専攻・コースの専門科目のうち集中講義で行う授業科目は、加東キャンパスで開講することがあります。

●演習科目の一部と実習・実技科目は、土・日曜や集中講義形式等により加東キャンパスで開講することがあります。

加東キャンパス

加東市下久米942-1



アクセス

車の場合

大阪国際空港から中国自動車道経由 約45分
 JR新大阪駅から中国自動車道経由 約60分
 三宮(神戸市)から新神戸トンネル、国道428号経由 約60分

公共交通機関の場合

JR新大阪駅 ... ハイウェイバス 約65分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
 JR三ノ宮駅 ... ハイウェイバス 約65分 ... 高速社(中国自動車道) ... 兵教シャトル便 約5分
 JR姫路駅 特快 約70分 ... 社車庫前(案内所) ... 特快 約12分

神戸ハーバーランドキャンパス

神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル2・3階(受付は3階)



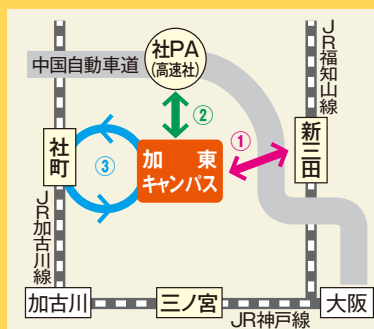
アクセス

公共交通機関の場合

JR神戸駅・市営地下鉄「ハーバーランド」駅から浜側へ 徒歩約8分
 神戸高速鉄道(阪急、阪神、山陽乗り入れ)
 「高速神戸」駅から浜側へ 徒歩約13分

安心して通学できる環境

通学や生活に便利なカレッジバス(無料)



神戸・大阪方面からの学生の通学や、マイカーを持っていない下宿生の生活をサポートするため、加東キャンパスと各地を結ぶカレッジバスを3ルート運行しています。

時刻表など詳細はこちら→



電車の時刻や授業に合わせて運行

①新三田シャトル便

JR新三田駅→加東キャンパス
 平日(年末年始を除く)3往復

高速バスの時刻や授業に合わせて運行

②兵教シャトル便

高速社→加東キャンパス
 平日(年末年始を除く)20往復
 ※来学者も利用できます

買い物などに便利! 加東市内を循環

③加東ループ便

JR社町駅→イオン社店→加東市街→高速社→加東キャンパス
 平日(年末年始を除く)4往復(1周約70分)

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 実践力に優れた新任教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

問い合わせ先

入試について 入試課 ☎ 0795・44・2067

カリキュラム・教員免許状について 学務課 ☎ 0795・44・2040

国立大学法人
兵庫教育大学

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 <https://www.hyogo-u.ac.jp/>
令和4年4月発行